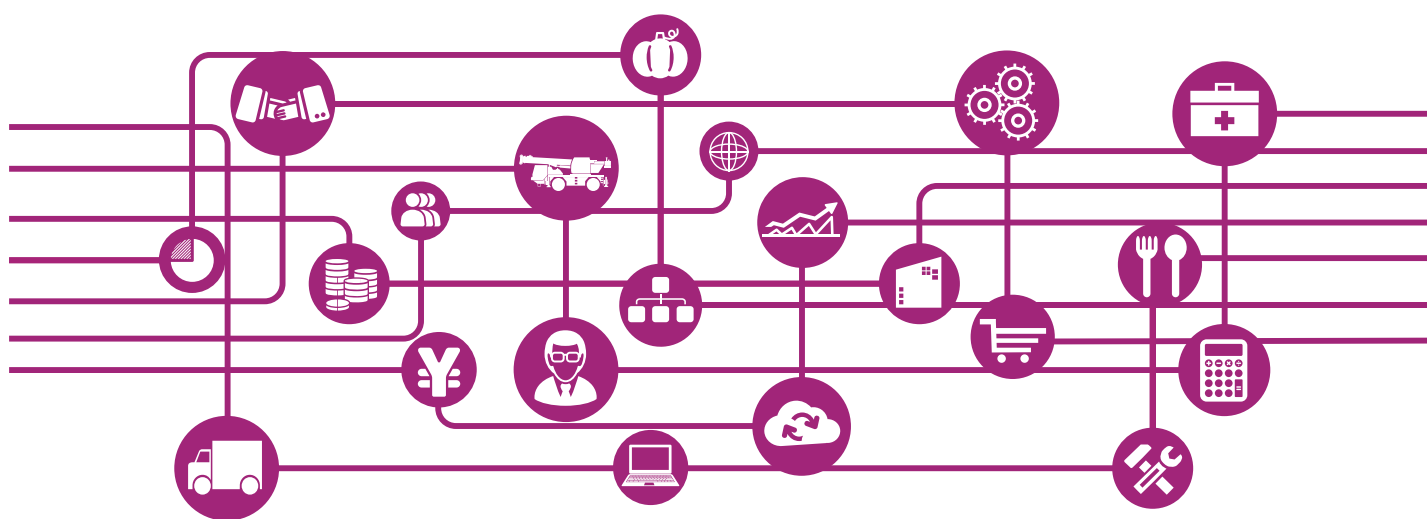


PCA

業種別事例集

～建設～





NIPエンジニアリング株式会社

建築物の雷対策・太陽光発電設備点検・大地抵抗測定

PCA Client-API

カスタマイズやアドオン開発によって、そのときの業務にもっともふさわしいシステムを構築。『PCA Client-API』によるストレスのない大規模運用を実現。

NIPエンジニアリング株式会社

ビルやマンションの避雷針設備の施工を中心に、最近は太陽光発電設備の点検にも力を入れ事業を伸ばしているNIPエンジニアリング株式会社。昭和26年の創業以来、その確かな雷害対策ノウハウは歴史的建造物やゴルフ場などでも活かされ、多くの実績を築いてきた。同社では長年PCA製品で販売管理を行っており、『PCA Client-API』によるアドオン開発によって、同社の業務になるべくフィットした運用へと進化させてきた。カスタマイズやアドオン開発によって業務はどのように変わったかを伺った。

導入システム

- ・ PCA 商魂 X for SQL 40CAL
- ・ PCA 商管 X for SQL 20CAL
- ・ PCA Client-API※1

※1) :『PCA Client-API』により開発したカスタマイズプログラムが利用できるサービスです。
2016年2月より、『PCAクラウドAPI』から『PCA Client-API』へ名称を変更いたしました。

導入の狙い

- ・ オーダーメイド開発のシステムでは年月が経つにつれ、業務とのズレが生まれてくるが、ズレを解消する費用を抑えたい。
- ・ 『PCA商魂』を工事会社でも使いやすいソフトにしたい。
- ・ システム連携と同時に何台も作業できるようにしたい。

導入効果

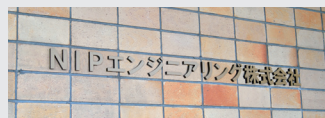
- ・ パッケージソフトなら自社の状況に合わせて選択でき、PCAはカスタマイズ、あるいはアドオン開発についても柔軟。自社に適したシステムを費用を抑えて構築できた。
- ・ 『PCA商魂』にカスタマイズを加えることで、工事管理の重要部分ができるようになり、工事会社にも使いやすい販売管理ソフトになった。
- ・ 『PCA Client-API』のアドオン開発によって連携処理をコントロール(※2)し、40台での同時作業を可能に。営業所も含めた複数拠点での大規模運用を実現。

プロフィール

ニッピ

NIPエンジニアリング株式会社

- 所在地: 〒661-0021 兵庫県尼崎市名神町3-7-18
- 営業拠点: 札幌、仙台、東日本(東京)、名古屋、大阪、四国、広島、福岡
- 設立年月日: 1955年4月1日
- 従業員数: 78名
- 資本金: 3,000万円
- 主業種: 建設業
- 業務内容: 避雷針製造、販売、設置、太陽光発電関連事業
- URL: <https://www.nip-eng.co.jp/>



本社外観

※2):

【ご注意】:連携処理をコントロールするカスタマイズは、運用条件により異なります。



NIPエンジニアリング株式会社
大阪営業所
日比 仁美 氏



NIPエンジニアリング株式会社
総務部 係長
吉田 和代 氏

導入前の運用と課題

○オーダーメイド開発システムは、開発時から年数がたつにつれ業務とのズレが出てくる

昭和26年の創業以来、避雷針専門メーカーとして一般のオフィスビルやマンションをはじめ、歴史的建造物やゴルフ場など様々な建物や施設の雷害を防いできたNIPエンジニアリング株式会社。最近は増加する太陽光発電設備の点検業務の依頼も増えている。自然災害や異常気象など自然がもたらすリスクが懸念される中、安定した設備の運用を提供する同社の社会的価値はますます高まっている。

以前、同社ではオーダーメイド開発のシステムによって販売管理を行ってきた。約10年程度そのシステムで運用していたものの、徐々に合わない部分が見えてきたという。

「オーダーメイド開発のシステムを作った時期から年月がたち、そのシステムと当社の状況とが徐々に合わなくなり、使わない機能も出てきました。ちょうどシステムの更新時期も近づき、現在の処理状況にフィットしないまま、更新の費用をかけ使い続けるのはいかなものかと考えはじめました」(大阪営業所 日比仁美氏)

「当社は雷対策製品やソリューションを提供している音羽電機工業グループの一員で、関連会社の担当者からこんなソフトがあるよと教えてもらったのが、PCAを知るきっかけだったと思います」(総務部 係長 吉田和代氏)

そこで2007年に手始めに『PCA商魂8 V.2』『PCA商管8 V.2』を導入。その後『PCA商魂X』『PCA商管X』へとバージョンアップして使用している。

選定のポイント

○カスタマイズやアドオン開発への柔軟性

同社が現在の『PCA商魂X』『PCA商管X』による販売管理を行うまでには、カスタマイズやアドオン開発の歴史も振り返る必要がある。同社は雷害対策の避雷針専門メーカーで、設置工事も仕事の大きな柱となる。そのため工事会社特有の機能の搭載が必要だった。そこで『PCA商魂X』『PCA商管X』へバージョンアップする際に、次のようなカスタマイズを加えている。

「『PCA商魂』『PCA商管』は一般的なメーカーが使いやすい販売管理ソフトですが、当社は工事会社です。工事会社の場合は現場ごとに材料費や諸経費などを管理する必要があるのですが、これが『PCA商魂』単体では難しい部分でした。『PCA建設業会計』の存在も知っていたのですが、経費の面でできるだけ『PCA商魂』で処理したいと考えました。そこで『PCA商魂』のベースに工事管理ができるようカスタマイズを加えてもらいました。工事明細については今もExcel®やAccess®を使用していますが、このカスタマイズによって複雑な工事管理の重要な部分については『PCA商魂』で処理できるようになりました」(日比氏・吉田氏)

このようなカスタマイズやアドオン開発への柔軟性も大きな選定ポイントとなり、現在はさらに『PCA Client-API』によって他システムとの連携をスムーズに行い、大規模運用できる環境を実現している。

導入後の効果

○『PCA Client-API』によって大規模な運用を実現

『PCA商魂X』のカスタマイズによって、工事会社に適した販売管理の重要な部分については処理ができるようになったが、その後また新たな課題が見えてきた。それは他システムと連携を行う際、同時に作業することができない処理があることだった。

そこで『PCA Client-API』のアドオン開発を実行し、連携処理をコントロールした。これにより、他の社員が『PCA商魂X』『PCA商

管X』のデータ取込を作業している場合でも、別の社員も『PCA商魂X』『PCA商管X』を確認・入力できる環境にした。

「本社だけでなく、営業所など外からでも『PCA商魂X』『PCA商管X』を入力操作できるようにしてもらいました。現在、『PCA商魂X』は40クライアント（40台までの同時接続が可能）、『PCA商管X』は20クライアントで運用しています。各営業所の声を改めてヒアリングしたわけではないのですが、すんなりと問題なくスムーズに使えていると思います」（日比氏・吉田氏）

同社の現在の運用環境を簡単にまとめると次のようになる。

（『PCA商魂X』+カスタマイズ）×（『PCA Client-API』のアドオン開発によって連動処理をコントロールし、『PCA商魂X』40クライアント・『PCA商管X』20クライアントの大規模運用）

大規模運用の場合、入力時のスピードが気になる場合もあるが、同社の場合は『PCAクラウド』への移行ではなく、オンプレミス版での『PCA Client-API』のアドオン開発を選んでいる。同社は、以前は自社独自のネットワーク環境で運用していたものを、カスタマイズのタイミングで親会社のネットワーク環境で使用する運用形態に変更した。つ

まり親会社のサーバーを利用することにより、ネットワーク回線の問題等を含めて非常に高速に利用できるようになった。そのため、全拠点において同環境で使用する大規模運用でもスピードはまったく問題なくストレスのない入力作業ができていているという。『PCA Client-API』によるカスタマイズプログラムは、『PCAクラウド』のみならずオンプレミス版、さらに同社のようにカスタマイズを加えたオンプレミス版にも利用できる。

○容易にExcel®出力でき、合算のためのデータにも加工しやすい

同社では『PCA商魂X』『PCA商管X』の分析ツールや機能の特徴を日頃の業務に上手に活用している。

「売上順位表などはよく使っています。また『PCA商魂X』『PCA商管X』の各データはExcel®へ容易に出力できるのですが、この機能はとても重宝しています。当社の場合はグループ会社への報告もあり、合算しやすいデータ資料にしなければいけません。基本的には毎月売上などの数字は『PCA商魂X』からExcel®出力し加工することになりますが、この一連の作業が大変しやすいです」（日比氏・吉田氏）

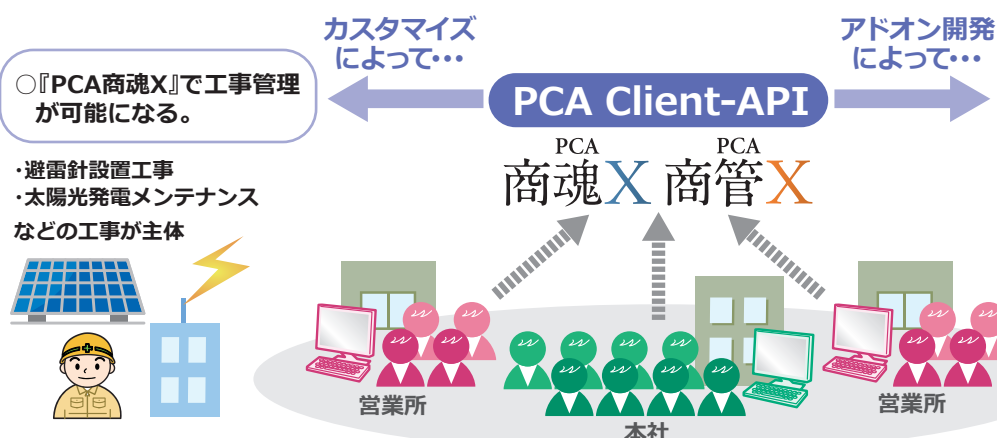


NIPエンジニアリング株式会社
総務部 次長
新 賀之 氏

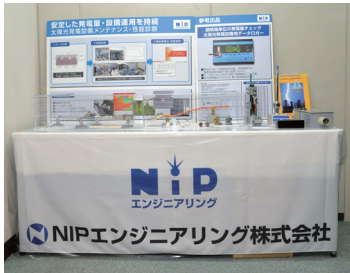


外部雷保護システム図

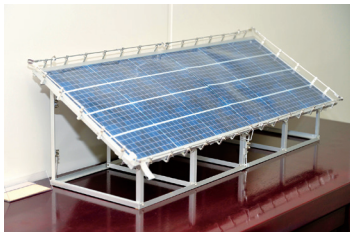
システム概況図



『PCA Client-API』のアドオン開発によって、オンプレミスでの同時接続利用が可能に。
・本社や各営業所からでも同時に入力可能。・オンプレミスでも大規模運用を実現。



太陽光発電設備メンテナンス・性能診断の流れ(模型)



ソーラーパーキット(模型)



NIPエンジニアリング株式会社 HP
<https://www.nip-eng.co.jp/>

また同時利用による大規模運用が可能のため、課長や部長など役職に付いている社員たちも各自『PCA商魂X』『PCA商管X』のデータを確認でき、つねに正確な数字を把握できる環境になっている。

「とにかく長くPCAを使ってきたので、私たちだけでなく他の社員もバージョンアップによる変化などを経験してきました。入力画面のインターフェイスについては『PCA商魂8V.2』から『PCA商魂X』に変わったときは文字なども大きくなり、当社は社員の年齢が少し高いので(笑)、見やすいと好評でした。『PCA商魂X』『PCA商管X』については各自で好みの色を変えたりと、みんなすんなりと自分なりに操作していると思います」(日比氏・吉田氏)

○アドオン開発によって日常の細かな業務も効率化

アドオン開発によるメリットは大規模運用だけにとどまらない。業務の細かい部分でもアドオン開発によって独自の運用ができるようにしている。

「出荷データ部分にアドオン開発を加えてもらっています。以前は出荷データにエラーがあった場合は、その数字がいったいどこから来ているのか、どこのデータがエラーとして戻ってきたのかを突き止めるのに時間がかかったんです。それが今ではどこの数字が戻ってきたのかをすぐにわかるように設定してもらいました」(日比氏)

「アドオンによって会計データと合わせやすくなりました。月次決算時に入金データと『PCA商魂X』『PCA商管X』のデータを1円単位まで照合していくのですが、会計担当者としては合計データは持っていますが、個々の顧客の販売管理データは持っていません。そのため以前なら不一致があるとデータを1件ずつ探しましたが、今は入金データの得

意先と『PCA商魂X』『PCA商管X』の得意先の照合ができますので、不一致があればその出所がわかり、会計データと合わせるのに苦労しなくなりました」(総務部 次長 新賀之氏)

「アドオン開発によって効率的に業務を遂行できるようになったのは事実です。サポートセンターもよく利用するのですが、1回の電話で疑問や問題は解決できています。たまに折り返しての対応もありますが、基本的にはその場で解決できていますね」(吉田氏)

今後の展望と課題

「できればカスタマイズやアドオン開発した部分が標準装備の機能だとうれしい」と語る同社だが、このカスタマイズ、アドオン開発によって柔軟に自社にフィットしたシステムを構築してきた。当初はオーダーメイド開発の方が融通が利くように見えるが、事業の成長に合わせて柔軟にソフトやシステムをカスタマイズ、アドオン開発できるのがPCAのパッケージソフトの強みだ。

避雷針専門メーカーとして知られる同社だが、今後は太陽光発電のメンテナンス業務も含め、さらに安全で質の高いコンサルタントやソリューションを提供していきたいと語る。

「太陽光発電が浸透し廉価の海外製も増え、その分メンテナンスが重要な意味を持つようになりました。当社は大企業やビッグプロジェクトからの依頼も多いです。今後も質の高い工事・製品・サービスでより多くの人々に安全・安心を提供していきたいです」(新氏)

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



グループ各社が個別導入していた
『PCA建設業会計』を『PCAクラウド』で統一。
決算の早期化と業務の統一化に成功した
大型クラウドユーザー

株式会社 桧家ホールディングス

株式会社桧家ホールディングスは13社のグループ会社を持ち、首都圏全域で注文住宅事業・不動産事業を行っている。平成19年には株式を上場。年々事業規模が拡大する中で、確実かつ迅速な会計処理を行う必要があった。そこで導入されたのが『PCAクラウド』だ。本社とグループ各社で『PCA建設業会計V.7』を共有、データの迅速な集計を実現している。「もはやPCAクラウドのない環境は想像できない」と語る同社に、大型クラウドユーザーの視点から導入のメリットを語っていただいた。

導入システム

○PCAクラウド (Type72 50CAL)

- ・PCA建設業会計V.7クラウド ・PCA会計Xクラウド
- ・PCA給与Xクラウド ・PCA商魂Xクラウド ・PCA商管Xクラウド

導入の狙い

- ・関連各社で導入している建設業会計データの取りまとめに多大な時間を要するようになった。
- ・万が一の震災対策も検討したい。

導入効果

- ・クラウド化することで、関連各社と本社のデータを共有。迅速な会計処理が可能に。
- ・『PCAクラウド』なら万全のセキュリティで、BCP対策としても極めて有効である。

プロフィール

株式会社 桧家ホールディングス

□所在地: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館7階

□グループ会社:

[注文住宅事業] 桧家住宅、桧家住宅北関東、桧家住宅東京、桧家住宅上信越、桧家住宅東北、パパまるハウス、レスコハウス

[不動産事業] 桧家不動産

[断熱材事業] 日本アクア

[リフォーム事業] 桧家リフォーム

[介護・保育] ライフサポート

□資産コンサルティング: フュージョン資産マネジメント

□設立: 昭和63年10月13日

□資本金: 3億8,990万円

□従業員数: 連結2,446名

□URL: <http://www.hinokiya-holdings.jp>

HINOKIYA

□業務内容:

住宅産業を取り巻く環境は劇的に変化しています。そのような環境の中でも、常にお客様目線で物事を考え、多様化するお客様のニーズにしっかりと対応できる、“ワンストップソリューションカンパニー”これが目指す企業グループの形です。あらゆる住宅に関する商品、サービスを取り扱うことで利便性を高め、お客様に安心してお任せいただける企業グループを目指して参ります。

※ 2012年10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。

《取材にご協力頂いた皆様》

株式会社 桧家ホールディングス
財務経理部 部長代理
盛田 雅士 氏



株式会社 桧家ホールディングス
経営企画部長
島田 幸雄 氏

導入前の運用と課題

○事業規模の拡大につれ、スタンドアロン運用に限界が

株式会社桧家ホールディングスが、『PCA建設業会計』を導入したのは平成14年までさかのぼる。当時、同社の関連会社は2、3社だったが、その後、同社の高品質・低価格の住まいづくりが広く認知されるようになり、事業は順調に拡大。平成19年には株式上場も果たし、現在は13社のグループ会社を有する規模へと成長している。

もともと同社が『PCA建設業会計』を導入した理由は、公認会計士から「配賦処理の柔軟性が高いのはPCAだ」と勧められたことがきっかけだった。実際、建設業会計ソフトは各関連会社で不自由なく使用されていたが、同社の事業拡大によって、会計業務と仕組みを見直す必要が生まれた。

「以前は、各関連会社に『PCA建設業会計』をスタンドアロンで導入し会計処理を行い、その各社のデータを本社のサーバーにリカバリーし処理を行っていました。しかし事業規模は年々拡大。1社分のリカバリーにもかなりの時間が必要になり、まずはデータ処理に要する時間をなんとか解決したいのが始まりでした」(財務経理部 部長代理 盛田雅士氏)

選定のポイントと導入までのスケジュール

○サーバーレスの運用は、万が一の震災対応にもなる

上記のような問題を抱える中で『PCAクラウド』の存在を知り、さっそく導入の検討が始められた。平成24年5、6月にPC

Aへ問い合わせ、すぐにPCA担当者による説明を受けた。『PCAクラウド』は関東・関西のデータセンターを選択でき、24時間365日体制の厳重なセキュリティ、震度6強相当の地震に耐えうる高度な免震設備、そして大規模停電時にも安全な自家発電システムで稼働している。BCP対策としても極めて有効であることからすぐ導入を決定し、夏には完全にクラウドへ移行という非常にスムーズな流れで導入が完了した。

当初導入については回線のトラブルへの不安があったそうだが「スタンドアロンの頃と比べて処理スピードに時間がかかる点が気になりますが、実際1年間使ってみて、回線トラブルは一度も起こりませんでした」(盛田氏)

導入後のメリット

○合計 11社、71台による大規模クラウドシステム

現在は関連会社を含めた11社が『PCA建設業会計V.7』を『PCAクラウド』によって利用。クライアント数は合計71台という大規模なクラウドシステムが運用されている。そのため権限設定には留意し、管理者は基本的に本社内だけに限定。メンテナンスのために入力操作できない時間帯を設け、各関連会社に周知を行っている。

「権限設定についてはスムーズに設定できました。運用ルールも一部使用時間の限定を各社に伝え、仮にその時間に使用している者がいれば、すぐに特定でき操作を終了するよう電話で伝えるだけです。ですからクラウドを大規模に利用しているからといって、特段煩わしいメンテナンスは必要ありません。何よりも、関連会社と同じ画面でデータを共有できたことの方が、はるかに意味があります」(財

務経理部 経理課係長 長谷川めぐみ氏

「クラウド導入の良さを実感できたのは大きく2つ。まず1つは当社の場合、以前から『PCA建設業会計』を使用しており、現場ではとまどうことなくクラウドへ移行できたこと。そして2つめは本社にしながら最新データを共有できることです。以前はデータにミスがあれば、関連会社でも修正し、かつ本社でも修正しなければなりません。しかしそれが今ではデータを一元化できたことで、一度の操作で修正が可能で、双方ともに正しい数字を確認できます」(盛田氏)

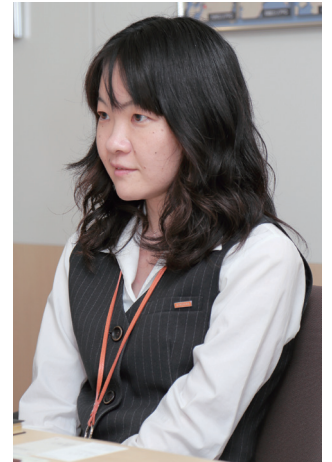
○クラウドによってバージョンアップも各社一斉の対応が可能

規模の大きな企業の場合、仮にスタンドアロンで同じソフトを各関連会社が使っていた場合、バージョンアップ時の手間とコストは相当なものになる。しかし同社では『PCAクラウド』を導入したことで、バージョンアップも大きな負担ではなくなった。

「クラウドによって各社一斉にバージョンアップできるので、バージョンの差による処理の問題が発生しません。またいつまでにバージョンアップを行うかの設定もでき、その告知もクラウドを通して一斉に伝えることができます」(長谷川氏)

○Excel®シートへの自動書き込みが可能。決算短信などの作成にも便利

『PCA建設業会計V.7』のメリットについて、「まずはExcel®データとの相性の良さ」だと盛田氏は評価する。同社は株式公開企業のため有価証券報告書や決算短信などの作成が必要になる。その場合、建設業会計ソフトのデータをExcel®データで抽出・集計することになるが、その場合も簡単にExcel®データへ落とせる。Excel®シートに自動的に書き込める機能もあり、日常的によく使われている合計残高試算表や補助科目残高一覧表などは、ボタンを押すだけでExcel®シートに作成できる。



株式会社 松家ホールディングス
財務経理部 経理課 係長
長谷川 めぐみ 氏

システム概況図

【PCA建設業会計V.7 メリット】

①様々な帳票データを、Excel®シートへ自動書き込み

合計残高試算表

Excelへ転送



PCAクラウドによって、関連会社を含めた計11社・71台のデータを一元化



②仕訳に不慣れな人でも理解しやすく入力しやすい画面



振替伝票入力

コクヨ形式の振替伝票入力画面。自動仕訳ができ、手書きからの移行でも入力しやすいフォーマット



本社オフィスにて

株式会社 桧家ホールディングス HP
<http://www.hinokiya-holdings.jp>

帳票工房も人気だ。工事関連の帳票フォームを自由に設計できる機能で、それぞれの企業独自に適したフォーマットで作成・出力できる。同社でも工事別補助科目残高一覧表や科目別工事一覧表などが、同社の使いやすい形式で用いられている。

○建設業会計に不慣れな人や、手書き処理からの移行にも対応しやすい『PCA建設業会計』

未成・完成工事振替入力も評価は高い。そもそも同社が『PCA建設業会計』の導入を決めた背景には、先述した「配賦機能」と、「未成工事と完成工事と同じコードを使えるため振替入力できる」の2点をクリアしているのが『PCA建設業会計』だと公認会計士から勧められたことが大きい。

「他にも使いやすさを感じるのは、例えば試算表を開くと、そこから元帳、さらには仕訳まで簡単に一度でたどることができる点です。複写機能も便利なのではないでしょうか」(盛田氏)

「『PCA建設業会計V.7』は建設業会計に慣れない人にも使いやすいソフトだと思います。振替伝票入力もコクヨ形式ですから、例えばずっと手書きで処理をしていたという建設会社にとっても、すんなりと入力に慣れることができると思います。当社は『PCA会計X』も導入しているのですが、帳票工房や帳票のコピー機能などは、ぜひ会計でも使えたらよいのにと感じているほどです」(長谷川氏)

今後の課題と展望

○さらなる事業拡大にも対応できるPCAシステムへの期待

『PCAクラウド』×『PCA建設業会計V.7』の組み合わせによって、業務の効率化は実現したと語る同社。回線速度の問題などもあり100点満点とまではいかないまでも、「もはやクラウドなしの環境は想像できない」と盛田氏は語る。今後同社では別の部署が『PCA給与』の導入を決定しており、同様に『PCAクラウド』での運用が実現するそうだ。

「当社は『アクアフォーム』を使った快適なエコ住宅を低価格で販売し、住む人にも環境にもやさしい住まいを提案してきました。その質が多くの方に認められ、ここまで規模を拡大してきました。今後もさらなる事業の拡大が見込まれますが、PCAシステムによる迅速な会計処理に期待しています」(経営企画部長 島田幸雄氏)



拡大する事業に対応できる
「一つひとつの工事の中身を見られる」
建設業会計ソフト。
クラウド環境で利用できる
『PCA建設業会計V.7』による効率化

株式会社 日本中央住販

昭和61年に設立した株式会社日本中央住販。同社が建築・販売するデザイナー住宅は大きな反響を呼び、その後個別分譲から街並み分譲へと事業を拡大。奈良県下に拠点を置く不動産会社の中で、売上高第一位となるなど着実に業績を伸ばしている。事業の拡大につれて会計ソフトも見直され、同社が選んだのが『PCA建設業会計V.7 クラウド』だ。さらに『PCA給与X』『PCA人事管理X』も導入し、業務の流れを効率化させている途中だ。PCA製品が事業拡大をどのように支援できているかを伺った。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type2 2CAL)

- ・ PCA 建設業会計 V.7 クラウド
- ・ PCA 給与 X クラウド
- ・ PCA 人事管理 X クラウド

導入の狙い

- ・複数の拠点から会計データを入力したい。
- ・1工事ごとの原価管理、収支管理を行いたい。
- ・人事管理や給与の処理についても効率化したい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』によって複数拠点の入力に加え、アウトソーシング事業者からの入力も実現。データもリアルタイムに共有でき、複数拠点で、全社の集計を可能に。
- ・『PCA建設業会計V.7クラウド』では、1現場ごとの原価管理や収支管理はもちろん、予算対比や原価要素での集計など、現場担当者が必要な情報が確認できるだけでなく、経理部で必要な工事情報もすぐに把握できる。
- ・『PCA人事管理X』によってコンプライアンスを順守した資格管理、『PCA給与X』でミスを極力軽減できる給与処理ができる。

プロフィール

株式会社 日本中央住販

- 所在地: (本社)〒630-8001 奈良県奈良市法華寺町70-1
(大阪本部)〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪 南館タワーA22階
(学園前本店)〒631-0044 奈良県奈良市藤ノ木台4-6-20
- 設立年月日: 昭和61年12月1日
- 従業員数: 227名
- 業務内容: ○新築一戸建て分譲事業／売買・仲介事業／賃貸事業
○注文住宅事業・建設業 ○室内装飾・家具・照明器具販売
○レストラン事業 ○雑貨販売店(aideco plus)運営
- URL: <http://home-ncj.co.jp/>

心豊か日本中央住販

住むだけで
しあわせに
なる家。





株式会社 日本中央住販
経営管理部 サブマネージャー
西川 大介 氏



株式会社 日本中央住販
経営管理部 主任
永井 あす香 氏



本社外観

導入前の運用と課題

○拡大する事業。複数の拠点で利用でき、さらに一つひとつの工事の中身を確認したい

平城京跡にほど近い奈良市の中央に本社を構える株式会社日本中央住販。新築一戸建ての分譲事業を始めとした仲介・賃貸などの不動産事業、さらにハウジング事業やリフォーム事業、レストラン事業など、多角的に家づくり・街づくりを行っている。奈良県内の不動産売上高ランキングで第1位となり、大阪本部をグランフロント大阪にオープンするなど、同社の“住むだけでしあわせになる家”は多くの施主から高い評価を受けてきた。その評価が実を結び、事業がどんどん拡大していくにつれて問題となってきたのが「建設会計の処理」だった。

「現場の数が増える中、会計の処理もさらにスムーズに効率よくしたいと考えていました。以前は別のメーカーの一般会計ソフトを使って処理していたのですが、現場ごとの収支を出すことや原価管理がしにくく“一つひとつの工事の中身を見たい”という視点で新しい会計ソフトを検討し始めました。さらに言えば、複数の拠点から全社の集計をスムーズに行いたいという希望もありました」(経営管理部 サブマネージャー 西川大介氏)

そこで建設業会計をクラウドで実行できるPCAに注目した。「正直に言えば、クラウドで建設業会計となると、他に選択肢がほとんどなかったというのも事実です。またいずれは人事管理ソフトや給与ソフトを連携させて、業務をよりスマートにしたいという思いもあり導入を決めました」(西川氏)

導入後の効果

○『PCAクラウド』によって会計入力をアウトソーシング事業者に一部委託

『PCA建設業会計V.7 クラウド』の導入によって、複数拠点から全社の集計をスムーズに行いたいという希望は実現できつつある。同社の場合は会計処理の一部をアウトソーシングに委託している。その業者とクラウドで繋がることで、入力はスピーディーに効率化できている。

「最新のデータをリアルタイムで共有できることは大きな意味があると思っています。この導入によってクラウドの利便性を実感できました。未定ではありますが、今後は税理士の先生とのやり取りにもクラウドを利用することで、より安全で効率的な会計処理ができるのではないかと考えています」(西川氏)

○『PCA建設業会計V.7』の工事帳票で1件ごとの現場の収支をすぐに確認

「一つひとつの工事の中身を見たい」という点についても、以前使用していた会計ソフトでは把握するのに時間がかかっていた部分を、『PCA建設業会計V.7』ではすぐに知ることができるようになったと語る。

「一戸建ての分譲という事業の特性上、一度に多くの現場が動いています。以前は1件の現場の利益を確認する際に伝票を1枚1枚確認したり、補助元帳の数字からたどっていくしかありませんでした。しかし『PCA建設業会計V.7』ではそのような手間が一切必要ありません。帳票からすぐにわかるようになったからです」(西川氏)

『PCA建設業会計V.7』の工事帳票では工事原価を材料費や外注費、経費などの要素ごとに集計でき、さらにその数字を予算額と対比できる。また工事原価科目別集計表では工事原価を科目ごとに残存・発生・残高を集計でき、これも予算額と対比できる。工事別はもちろん、部門別や工

事担当者別に集計することもでき、「知りたい数字をはやく集計できるようになったことは大きなメリット」だと語る。

○未成工事・完成工事の振替入力が容易。会計知識があればすぐに操作できる

未成工事・完成工事の振替入力も便利な点だと評価されている。『PCA建設業会計V.7』では期中すべての取引を完成工事として仕訳している場合、決算時の未成工事分のみを完成工事から未成工事に振り返る仕訳方式となっている。翌期の未成工事から完成工事の振り替えも自動で行える。

また『PCA建設業会計V.7』の検索性の高さを活かして次のような使い方もしている。「科目名で検索できるのは便利ですね。コードを覚えるのには時間がかかりますが、勘定科目がわかっていたらかな検索で拾うことができます。当社はまだ『PCA建設業会計V.7』を導入してから日が浅く、

今も迷いつつ使用しているのが正直なところですが、検索しやすいため操作のしやすさは実感できています」(経営管理部 主任 永井あす香氏)

一方で土地の原価管理については、まだまだ改善の余地があると西川氏は語る。同社の場合、土地+住宅の販売が多く、土地の原価管理ができない点は使いづらい部分になるという。

「『PCA建設業会計V.7』は建設業向きにはとても適したソフトであることは間違いありません。クラウド環境でここまでできる建設業会計ソフトは、他にはないと思っています。しかし土地+住宅の販売は当社の大きな特色にもなる部分ですから、今後はなんとかここに対応できるように工夫して使っていける方法も考えています」(西川氏)

全体的に見て『PCA建設業会計V.7』は仕訳に不慣れな人でも、ある程度取り掛かりやすい面もあると両氏の印象は一致している。



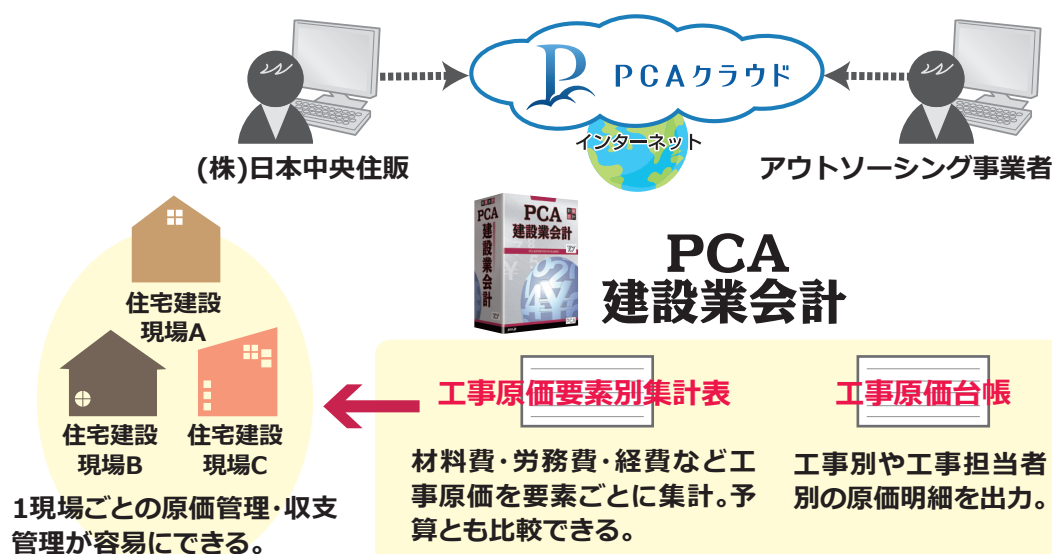
学園前本店外観



グランフロント大阪に、大阪支店をオープン。

システム概況図

『PCAクラウド』によって、アウトソーシング事業者とリアルタイムに最新データを共有。入力作業の効率化を実現。



「どんな会計ソフトでも、簿記的な知識がない人には最初はハードルがあると思います。ただしある程度の知識がある人なら、一度説明するとその後は難しくないのが『PCA建設業会計V.7』だと思います」(永井氏)

「建設業会計の難しいところは、一見すると一般会計の勘定科目と似ている部分があるものの、じつは違うという部分が少なくないことです。そこが複雑なため入力にはある程度の慣れが必要になりますが、だからこそ後からいろいろな建設帳票を出力できます。私たちもまだ導入して間もないため機能を確認しながら操作している最中ですが、慣れてくるとより効率的に利用できるだろうと期待しています」(西川氏)

○ミスを極力軽減できる機能によって、安心して業務を遂行

同社では『PCA建設業会計V.7』の導入に合わせて『PCA給与X』『PCA人事管理X』も、将来の連携を視野に導入した。『PCA給与X』についてはすでにメリットを実感している部分があるという。それは「極力ミスのない給与処理ができる点」だ。

「以前の給与ソフトでは毎月の繰り越し処理が必要で、もしこの処理を忘れてしまうと新しい給与データをインポートしたときに、前月の給与の記録が上書きされてしまい、過去のデータを参照できなくなる危険がありました。しかし『PCA給与X』は何月分の給与という表示ではなく、今年何回目の給与かという回数表示です。CSVデータをインポートする際に何回目の給与かを入力する必要があり、うっかりデータを消すという心配はありません。当社は

事業部によって支払日が異なるため、ミスが起こりにくい給与処理ができる点は大いに助かります」(永井氏)

使用する人がミスを起こしにくい機能については『PCA人事管理X』にもある。同社のように様々な職種や資格を持つ従業員を擁している場合は、その資格を管理する際に資格の有効期限が問われる場合もある。『PCA人事管理X』では資格の有効期限が近づいている場合はアラート機能によって知らせるため、企業のコンプライアンスにおいても適切な運用を行いやすい。

今後の展望と課題

導入して間もないため今後PCAソフトをどんどん活用していくことが当面の目標だと語る同社。

「不明点があるとよくサポートセンターを利用しています。待ち時間がほとんどなく繋がり、さらに疑問もその都度、解決できています。機能や操作についてもわかりやすく案内してもらい、なるほど、そういうことができるのかと発見することもあります。今後もサポートセンターを利用しながらPCAソフトをより活用していきたいです」(永井氏)

「『PCA建設業会計V.7』はデータを蓄積していったこ、あらためてその価値がわかると思います。来年度は前年度比較ができることで、経営分析にも役立てていこうと思います。来年度はさらに工事数も増えることが予想されます。PCA製品によってカバーできることを期待しています」(西川氏)



株式会社 日本中央住販 HP
http://home-ncj.co.jp/

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



見積書作成から工事発注までの
複雑な流れを短縮化
スマートデバイスとの連携で
現場でもメリットを実感



株式会社 ケーネット

CRM、CTIの開発運用コンサルティングや環境構築を中心に、幅広く事業を推進している株式会社ケーネット。いわば“オフィス環境のスマート化”が同社の最大の商品とも言えるが、そんなスマート化・効率化をよく知る企業を選んだのが『PCAクラウド』だ。見積書作成と販売管理システムの効率化をねらって導入されたクラウドだが、その満足度はかなり高いと言う。iPadなどスマートデバイスとの連携も好評だ。同社の高い満足度の背景を探った。

導入システム

・PCA 商魂 X クラウド (5CAL) ・PCA 商管 X クラウド (5CAL)

導入の狙い

- ・販売管理システムと見積書を連動させたい。
- ・複雑で煩雑な見積作成から工事発注までの処理を一目でわかるシステムにしたい。
- ・営業担当者ごとに違っていた見積書のフォーマットを統一したい。
- ・新システムの導入ではできるだけコストを抑えたい。

導入効果

- ・見積書作成、販売管理システム入力の2度手間がなくなった。
- ・クラウドの導入によって、業務の流れが瞬時にわかるようになった。
- ・見積書のフォーマットを統一できた。
- ・クラウドのため新しい機器の購入も必要なく、価格面でも納得。

プロフィール

株式会社 ケーネット

- 所在地：〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町 1-8-7 近藤ビル 2F
- 従業員数：11名
- 設立：平成3年4月
- 資本金：1,000万円
- 東京都知事許可 建設業(般-13)電気通信工業 第115345号
- 企業URL：<http://www.k-net-c.co.jp>

□事業内容：

お客様の立場で、最新で確かな情報通信に関する情報の提供と、最も効果的なネットワークシステムをご提案させていただきます。

- ・電話工事、LAN工事、ネットワークカメラの設置と保守
- ・NTT、ソフトバンク、KDDIの回線の取次と各種IP電話の販売と工事
- ・コンタクトセンターシステムを核としたCRM、CTIの開発運用コンサルティング
- ・CTIシステムの環境構築(サーバー/PC設定/交換機との接続)
- ・携帯電話の販売
- ・FMC、無線LAN、の構築及び運用コンサルティング
- ・インターネット環境構築(PC/ルータ設定)
- ・カラーコピー、プリンターの販売とネットワークの提案

導入前の運用と課題

○見積書作成と販売管理システムの2度手間が問題に

ケーネットはセキュリティ機器やセキュリティソフトの販売をはじめ、CRM、CTI システム環境の構築、さらにそれに関わる工事まで請け負っている。そのため顧客に提出する見積書の内容も複雑で、販売管理システムとも連動していなかったため、業務効率の悪さが以前から問題となっていた。「以前は見積書に Excel®を使い、販売管理システムとは異なるサーバーベースに保管していました。見積書のフォーマットも営業担当者によってバラバラでした。それぞれが異なる見積書を Excel®で作成し、その後に販売管理システムに入力するため、当然効率も悪くミスも発生します。営業的にも業務的にも非効率であることは明白でした」(カスタマーエンジニア 担当部長)

決定のポイントとスケジュール

○価格面・機能面・管理面で比較

そこで 2012 年 3・4 月に社内で改善に向けた動きをスタートさせ、7 月に『PCA クラウド』のテスト導入を開始。10 月から見積書の作成を始め、11 月には旧販売管理システムと併用運用を開始。12 月から『X シリーズ』にバージョンアップさせ本稼働となった。

当初、他社の販売管理ソフトも検討されたそうだが、PCA のクラウドを選んだのにはいくつかの理由があるそうだ。「弊社はサーバーやパソコン機器も販売しており、その販売代理店の一つから PCA を紹介されました。それ以前は PCA のソフトは一切使っていなかったのですが、価格面・機能面・管理面などあらゆる面で他社製品と比較し、弊社に一番合うのは PCA のクラウドだと判断しました。今、何かとクラウドは話題になっており、他社のクラウドとも比較しましたが、安価で導入しやすいという点から『PCA クラウド』は魅力的でした。導入の判断は正しかったと考えています。満足度を数値にすると 90%には達していますよ」(担当部長)

導入後の効果

○複雑な見積書作成の業務を短縮化

当初は価格面が決め手となった『PCA クラウド』だが、実際に運用してみると改めてその使いやすさ、便利さを実感しているそうだ。「思った以上に自分たちでカスタマイズできるのが便利です。フォーマットも使いやすい仕様にアレンジできます。以前使っていたソフトの流れから大きく逸れることもなく、今までの業務の流れをカバーしつつスムーズに本稼働できた点もよかったですね。弊社は見



株式会社 ケーネット
法人営業部
小出 茂喜 氏



株式会社 ケーネット
代表取締役
工藤 大輔 氏

積書を作成し、受注・発注、そして工事という流れが主ですが、導入前はこの見積書作成の業務が非常に複雑で、それぞれ営業が個々のフォーマットで作成し、それを販売管理システムに入力していました。当然ミスも発生します。見積書作成が1件につき20分かかったとして、繁忙期は5・6件あるいはそれ以上になり、1・2時間は確実に時間を取っていましたが、ここが大きく短縮できました。“計り知れないほど楽になった”と言っても決してオーバーではありません”(法人営業部 小出氏)

○“ミスが減る”よりも“流れが見える”ことの価値

「責任者という立場から言わせていただくと、クラウドの良さは“ミスが減る”というよりも“流れが見える”ことが大きな意味を持つように思います。全体が見えて楽になり、わかりやすい。スマートに事務処理が行えることで業務効率は大きく改善しました。クラウドなのでサーバー管理の手間がなくなったのも良い点です。大企業ならまだしも、弊社のような規模では社員は本来の業務を行いつつ、サーバー管理も兼任しなければなりませんでした。この手間がなくなったわけですから、業務に集中できます。弊社は事業としてサーバーの構築、販売、セキュリティ強化も提案していますが、実際に弊社がクラウドを導入してい

ることで、顧客にも提案しやすいという面もあります”(カスタマーエンジニア 担当部長)

○iPadなどスマートデバイスとの連携

スマートデバイスとの連携によって、営業の現場でもクラウドのメリットは大きく実感されているようだ。「『PCAクラウド』はiPadやiPhoneなどのスマートデバイスとも連携が可能です。弊社はPCAの『商魂』『商管』も使用しており、クラウドを使って一部の情報を営業先で見ることが出来ます。出先で顧客の情報を確認できますから、提案もしやすいですし大変便利で、こういうことがクラウドの醍醐味なのだと思いますね。このサービスはつい先日知ったばかりなので、今後はできるだけ活用していきたいですね」(小出氏)

他にも『Xシリーズ』にバージョンアップしたことで、操作性がよくなったようだ。画面が見やすく、使う人のセンスで文字の種類などを変えることもできわかりやすい。クラウドサービスで懸念されがちな通信時間においても問題はないと語る。

今後の課題と展望

○販売管理と顧客管理をより洗練された形で統合したい

同社では、今後はできれば顧客管理システムの改善を図ってい

PCAクラウド スマートデバイスオプション

現場営業向け機能「得意先照会」



得意先詳細	
コード	0004
得意先名	マークマーケット
社名	マーク
住所	536-0005 大阪府大阪市城東区中央2丁目20-30 マーク 2F
TEL	06-1245-9854
FAX	06-1245-9855
メール	
先方担当者	タップして表示
担当者	佐藤 和夫
部門	大阪
与信限度額	0
未回収残高	3,829,544
月次売上	タップして表示

お客様先で未回収残高や取引実績がすぐに確認できるので、とても便利です。



GoogleMapにも連携するので、別の担当から引き継いだお客様や、上司と待ち合わせしての訪問が非常にスムーズです。

株式会社 ケーネット

情報通信のコンサルティングから施工、保守まで幅広く迅速なサポートに対応しております。オフィスの移転などで情報機器の新設・移転などございましたら、お気軽にご相談ください。



株式会社 ケーネット HP
http://www.k-net-c.co.jp

たいと考えてはいるが、希望の形態にまではもう少し時間がかかりそうだ。「一例としてですが、顧客の電話の着信番号から、その顧客情報がポップアップなどで瞬時に出てくるような仕組みができると、営業の現場ではより便利だと思います。ただしこれはクラウドのシステム上、なかなか難しいことだろうという点はよく理解しています」(小出氏)

「我々が言いたいのは、ある程度のリスクはもちろん想定した上で、販売管理も顧客管理もできるだけデータベースをまとめてごんまりとさせるのが、結局は一番便利で、かつ安全ではないかという点です。販売管理と顧客管理は別々に考えられがちですが、結局は同じお客様のデータという企業が多いのではないのでしょうか？であれば複数のデータベースを抱えるのは非効率的だし、かえって安全でない場合もあると思います」(担当部長)

企業の通信環境、システム環境を安全でスマートなものに改良しているケーネットだが、今後も新しいシステムを取り入れつつ、時代の先をとらえたサービスを提供していきたいと語る。「弊社は創業時から、いかにお客様によりよいサービス、満足のいくサービスを

提供できるかを第一に考えてきました。お客様の役に立つことが大事なんです。そのためにも弊社内部の業務をよりスマートにして、その分、お客様のサービスに還元したいと考えてきました。クラウドの導入もその一つです。時代に沿う、あるいは時代の先を見据えて我々も変容し、時代が望むものを提供していくことが目標です。今後も果敢に新しいものを取り入れ、お客様によりよい提案を行っていきたいです」(担当部長)

心ふれあう、住まいの提案。

**LEAF
HOUSE**
CORPORATION



現場別の原価集計を迅速に処理する

『PCA建設業会計 V.7』。

多くの現場をかかえる住宅建設会社にも

最適の建設業会計ソフト。

消費税 8%対応を考慮し、『PCAクラウド』を採用。

株式会社 リーフハウス

株式会社リーフハウスは、福井県を中心に展開している住宅建設・設計・リフォーム会社だ。

30 年以上の実績を持ち、高品質で低価格の住宅は人気を呼んでいる。そのため年々工事数は増え、従来の会計システムを見直す必要が生まれた。そこで導入されたのが『PCA 建設業会計 V.7』+『PCA クラウド』だ。ゼネコン向きと思われがちな『PCA 建設業会計』を、地域密着型のハウズビルダーでも有効活用できる事例といえるだろう。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type2 2CAL) ※
・ PCA 建設業会計 V.7 for SaaS

※【イニシャル'0'プラン】初期費用なし、月額利用料のみでご利用いただけるプランです。

導入の狙い

- ・ 現場別の原価集計表を出したい。
- ・ 『PCA 会計』+「Excel® の工事台帳」の二重の手間を省きたい。
- ・ 会計事務所へ送付するデータをペーパーレス化し、データでの確実なやり取りを行いたい。

導入効果

- ・ 『PCA 建設業会計 V.7』によって現場別の原価集計が可能になり、現場での予算管理も可能に。
- ・ 『PCA 建設業会計 V.7』でデータを一括入力。入力の二度手間を解消。
- ・ 『PCA クラウド』によって、会計事務所とデータを共有。リアルタイムで会計データの確認ができる。

プロフィール

株式会社 リーフハウス

- 所在地：
(本社)〒918-8232 福井県福井市荒木別所町 7-8
(敦賀営業所)〒914-0803 福井県敦賀市新松島町 1-26 ヴァンヴェール B
(家の森展示場)〒910-2147 福井県福井市成願寺町 10 字
- 設立：昭和 60 年 2 月 18 日
- 社員数：34 名
- 資本金：2,600 万円
- 主業種：建設業
- 業務内容：注文住宅建築業
- URL：<http://www.leafhouse.jp/>



本社外観

※ 2012年10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



株式会社 リーフハウス
経理主任
加納 和子 氏



展示風景

導入前の課題と運用

○現場別での原価集計を可能にしたい

株式会社リーフハウスでは、以前から『PCA会計』が導入され、勘定科目を同社の会計基準に应用させて利用していた。建設業のため工事台帳も必要となる。そこで工事台帳はExcel®を用いて作成していた。つまり『PCA会計』+『Excel®の工事台帳』という2つの入力業務が発生し、時間もかかっていたと経理主任 加納和子氏は当時を振り返る。

「私が入社するまでは工事台帳も手書きでした。Excel®によってかなり効率は上がりましたが、お陰様で当社が手掛ける物件数も年々増え、この2重の入力作業では追いつかないと判断したのです」(加納氏)

他にも、一般の会計ソフトでは現場別の原価集計ができない点も強く改善したかったという。同社の場合、住宅を建設しているため現場の数そのものが多い。実際に工事現場にいる現場責任者にとって、現場の支払いの流れは見えづらいのが現状だ。

「未払金がどれだけ残っているか、予算はあといくらあるかというデータを、現場別に時間を取らずに集計できる方法を模索していました」(加納氏)

選定のポイントと導入までのスケジュール

○確実な現場別集計の実現、クラウドの価格設定が決め手に

そこでPCAの販売パートナーから『PCAクラウド』『PCA建設業会計』があることを聞き、さっそく検討に入ったという。①未成工事支出金など確実に現場ごとの集計が出せる点、②クラウドならバ

ックアップの不安が解消でき、会計事務所ともリアルタイムで情報を共有できる点などが決め手となり導入を決定した。

「他にも導入を決めたポイントはあります。第一に『PCAクラウド』のコストは魅力的でした。月々の利用料だけで済みますし、いつでもやめることもできます。またPCAの営業の方のお話を聞いているうちに、今までの課題が確実にクリアできると実感できました。実際にその通りで、満足して利用しています」(加納氏)

昨年、『PCAクラウド』+『PCA建設業会計V.7』を導入。導入時はサポートセンターを大いに利用したという。

「当社の場合、特殊な勘定科目があり、売上の計上も当社独自のルールを用いているため、はたしてサポートセンターの方に当社の事情が伝わるか心配していました。しかし実際には心配無用で非常に丁寧に対応してもらい、アドバイスも的確でしたね」(加納氏)

導入後の効果

○現場での予算管理、原価集計を一目で把握できる『PCA建設業会計 V.7』

『PCA建設業会計V.7』の導入によって、当初の課題であった現場別管理は非常に有効に活用されている。現場別の原価台帳の出力作業がはやり、出力されたものは現場責任者に渡しており、現場責任者からは現場のお金の流れを一覧で確認できるのは非常に助かるとの声が寄せられているようだ。

「現場での予算管理ができるようになったのは大きいです。工事原価要素別集計表は、工事原価を材料費や経費などの要素ごとに集計できるだけでなく、予算額との対比も出力できます。どの業者にいくら払ったのかという業者別の集計も可能です」

工事関連帳票ホームを自由に設計でき

る帳票工場の機能も使われており、なかでも科目別工事一覧表は各現場での工事未払い金残高が一覧で確認できるため、業者への支払いの際に利用されている。国土交通省に提出する工事経歴書についても、『PCA 建設業会計V.7』への毎日の入力を行っていれば、簡単に作成できる。

一般会計システムからの移行時には、データを再入力する箇所もあり、特に工事情報処理のための登録作業は正直苦痛だったそうだ。しかし約1年間使用し、現場ごとの重要な集計結果をボタン一つで出せるようになって、改めて導入して良かったと感じているそうだ。

『PCA建設業会計V.7』は経理部門以上に、工事現場での予算管理や支払いの確認に大きな力を発揮しています。経理部門の効率化も大事ですが、現場から依頼されたものを迅速に提出できることに、より効率化の意味があるようにも思います」(加納氏)

○『PCA クラウド』なら消費税アップ時のバージョンアップも無償

『PCAクラウド』は本社と会計事務所で利用されている。会計事務所側は当初、クラウドの導入に対して積極的ではなかったそうだ。そこでクラウドの導入費用は同社が負担し、かつPCAが直接指導を行うことで、導入を決意。現在はリアルタイムで会計情報を共有している。

同社の場合、膨大な数の設計図面を保管しなくてはならず、経理関係の書類はなるべくデータ化し、ペーパーレス化を進めたい意向もあったそうだ。

またクラウド導入のメリットとして、今後予定されている消費税アップへの対応もあげられている。『PCAクラウド』はバージョンアップやメンテナンスの費用が月々の利用料に含まれている。そのため2014年度の消費税8%への移行の際にも、バージョンアップのメールがPCAから利用者へ届き、ダウンロードすれば自動的に8%で集計される。また手入力で5%と設定することも可能だ。

『PCAクラウド』の次元の高いセキュリティを知り、バックアップ機能など震災対策としても利用できると考えました。またサーバーなら容量は決まっていますが、クラウドなら追加料金で済



本社オフィス風景



本社屋外看板

システム概況図



- PCAクラウドによって、会計事務所とデータを共有
- 自社内のペーパーレス化の促進
- バックアップシステムにより、震災対策としてもサーバーレスの環境に

PCA建設業会計V.7
for SaaS

工事原価台帳 工事原価要素別集計表
予算額との比較が可能

住宅建設現場A
住宅建設現場B
住宅建設現場C
これらの帳票を参考に、現場での予算管理、未払金の確認が行える



【リーフハウス 家の森展示場】



リーフハウスでは、「高品質・低価格」の新世代木造住宅供給システム認定のジャープネット「新世代ハウス」を、今回さらにエコ住宅仕様の「Haruno」として好評発売いたしております。

「Haruno」の住まいは、現代的で落ち着いた色調のあるフォルムと、シンプルで明るい色調が、新しいなかにも、いつまでも飽きることがないモダンなデザインの住まいを提案いたしております。また、高耐震・高耐久・高規格の強い基本設計と合わせて、断熱を強化し、より良い住みやすさをお届けします。福井の気候にあった、木の温もりのある住まいを、低価格でご提案いたします。



株式会社 リーフハウス HP
http://www.leafhouse.jp/

むのもポイントだと思います」(加納氏)

○『PCA 建設業会計 V.7』はゼネコンだけでなく住宅建設会社にも使いやすい

約1年間、『PCAクラウド』+『PCA建設業会計V.7』を利用してきた加納氏は、改めて次のような感想を持ったという。

「かなり複雑な建設業会計にも対応できる『PCA建設業会計v.7』に対して、じつは最初、ゼネコン向けのソフトかもしれないという不安がありました。しかし1年間使ってみて、当社のような地域密着型の住宅建設会社にとっても非常に便利なソフトだとわかりました。当社独自の計上方法についても、少し応用を効かすだけで対応できていますし、必要な機能だけを使うことで、当社よりも規模の小さな建設会社や住宅会社でも非常に使いやすいソフトだと思います」(加納氏)

また経理や建設業会計に詳しくなくても、すぐに操作になれるようなわかりやすさも『PCA建設業会計V.7』の特徴だと加納氏は評価している。

今後の課題と展望

『PCAクラウド』の堅牢なセキュリティシステムを知ったことで、今後は『PCA給与』もクラウドで利用しようかと検討しているようだ。

一般的に給与事務を担当しているのは、女性が多い。企業の中には経営者と血縁関係のある人に任せるなど、簡単に代替要員が見つかりにくい部門でもある。同社もそのような事情があるため、クラウドを利用することで、自宅などからも

給与処理ができる方法を検討している。

このように事務作業の合理化を進め、少しでもサービスに還元していきたいと語る加納氏。「当社は、合理的で新しいことをどんどん取り入れていける風土があります。住宅建設事業においても、30年の長期保証サービスをご用意するなど、良いと思われるものはどんどん取り入れてきました。今後もリーフハウスで建ててよかったと思われるような家づくりに努力していきます」(加納氏)

インタビュー後の動向

「今後の課題と展望」にあった『PCA給与とクラウド』の導入であるが、取材後、「思い切って2014年1月から『PCA給与Xクラウド』『web給金帳』を導入しました」と加納氏より連絡をいただいた。

「お陰様で、給与明細をPCか携帯のどちらか希望する方へデータで送信することができるようになりましたので、各営業所の代表者が明細書を取りに来るという手間もなくなりました。

また、個人個人が自分のデータを持っておりますので、源泉徴収票などが必要な社員はいつでも自分で印刷できるようになりました。

私個人としては、明細を印刷して封筒詰めする手間も省けましたし、住民税の合計も一目で確認できますので、かなりの時間短縮となりました。」(加納氏)



『PCAクラウド』なら、企業は強固なセキュリティで貴重なデータを守れる。中小規模の企業や法人でも、高い安全性と信頼性の基幹業務クラウドを利用できる

株式会社 ナイスリフォーム

徳島市に本社を構える株式会社ナイスリフォーム。住宅のリフォーム事業以外に、システムサポート事業も持つユニークな企業だ。快適な住まいを提供するのと同様に、事業者にとって快適なシステム環境を用意することもサービス業の一環ととらえ、現在、様々な企業のシステムサポートを行っている。そんな同社で採用されているのが『PCA商魂X クラウド』『PCA商管X クラウド』だ。「小さな企業でも確かな品質のクラウドを安心して利用できる環境」を提供する中で、あらためて見えてきたPCA製品のメリットについて語っていただいた。

導入システム

○PCA クラウド BPO プラン (2GB モデル 10CAL) ※1

- ・PCA 商魂 X クラウド ・PCA 商管 X クラウド
- ・PCA 会計 X クラウド ・PCA 給与 X クラウド
- ・PCA 公益法人会計 V.12 クラウド

※1:【BPOプラン】会計事務所・社会保険労務士事務所・アウトソーシング向けプラン

導入の狙い

- ・顧客からの問い合わせに、タイムリーに対応したい。問題解決までの時間を短縮したい。
- ・中小規模の企業や法人でも『PCAクラウド』が利用できる環境にしたい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』によって顧客とデータを共有。最新データを共有することで、迅速な対応が可能に。
- ・『PCAクラウド BPOプラン』によって、1ライセンスからの導入が可能に。小さな規模の企業や法人でも導入しやすく、初期費用がかからないため新規事業も始めやすい。

プロフィール

株式会社 ナイスリフォーム
システムサポート&サービス事業部

- 所在地:〒770-0872 徳島県徳島市北沖洲2丁目9番18号
- 設立:平成4年7月1日
- 資本金:1億1050万円
- 従業員数:70名
- 主業種:建設業・不動産業
- 業務内容:法人向け業務ソフト・実務の支援
- URL:<http://www.kaiki-systemdo.jp/>



□事業内容:

(株)ナイスリフォーム システムサポート&サービス事業部は、業務パッケージソフトの活用で、中小企業の経営をサポートします。業務ソフトの専門家、お客様の必要とするサービスを提案・提供いたします。

導入前の課題と選定のポイント



株式会社 ナイスリフォーム
システムサポート&サービス事業部
営業主任

田中 陵二 氏



徳島本店エントランス



徳島本店セミナールーム

○顧客にタイムリーなサポート & サービスを提供するために

システム環境の構築から導入・運用のサポート、さらに経理、給与計算や勤怠管理などの実務サービスまでを一手に引き受けている株式会社ナイスリフォームシステムサポート&サービス事業部。同事業部が『PCAクラウド』を導入したのは平成25年7月。それまでは顧客の事務所まで社員が出向き、会計支援などを行っていたため時間も手間もかかり、「場所を選ばずに仕事ができる」という環境を模索していたという。

「当社では各企業の経理実務の支援も行っています。以前は当社の社員がお客様のところまで伺い、そこでデータのバックアップを持ちかえり、その後に確認するという状態でした。そのためお客様の問題を解決するのにどうしても時間がかかってしまいました。そこでよりタイムリーなサービスを提供するための方法として、『PCAクラウド』の検討をはじめました」(システムサポート&サービス事業部 営業主任 田中陵二氏)

同社ではPCA製品以外にも、数多くの会計ソフトを取り扱っているが、『PCA公益法人会計』が公益法人会計ソフトの中で最も高いシェアを誇っている点と、同社の顧客である公益法人・一般公益法人からも、『PCA公益法人会計』は高い関心を持たれていることから、PCA製品への馴染みはあったという。

「公益法人会計ソフトを主としたPCAとのお付き合いでしたが、あらためて『PCAクラウド』のサービスをじっくり検討したときに、このクラウドサービスを当社のサービスに組み込めば、単なる効率化ではとどまらない、より質の高い顧

客サービスが実現できると考えました。実際にその通りの効果と反響が出ています」

導入後の効果

○『PCAクラウド』は業務アプリケーションと実行環境がセット。 つまり導入までの時間と手間、 顧客への負担もかからない

平成25年7月に『PCAクラウド Xシリーズ』の体験版の利用を開始。利用方法や利便性、価格などの面から、他社のクラウドともじっくり比較検討したという。そこで出た結論は「やはり『PCAクラウド』が品質面、運用面、安全性からも大きく抜き出ている」ということだった。

同事業所では現在、『PCA商魂X』『PCA商管X』を『PCAクラウド』によって運用しており、顧客からの問い合わせにも『PCAクラウド』によって、どこからでもタイムリーな対応ができるようにしている。

田中氏は『PCAクラウド』の大きな特徴として、「お客様に提案しやすいシステム」だと評価している。その一つとしてまず「導入時の環境構築の手間がかからないこと」を挙げている。

「会計ソフトをクラウドサービスで提供しているメーカーが増えてきましたが、実際にクラウドを利用するための実行環境はソフトウェア会社ではなく、別のメーカーに依頼しているケースが多いです。そのため実行環境を構築するのに別途料金が必要になってしまったり、稼働まで時間がかかってしまう場合もあります。しかし『PCAクラウド』は業務アプリケーションと実行環境がセットです。ソフトウェアもクラウドもPCAがすべてフルパッケージで提供しており、トータルできちんと面倒を見てくれているという安心感があり、利用までの環境構築の

手間も一気に省くことができます。当社ではお客様へのサポートを重視しているため、まずは何よりも『安定・安心・信頼・高品質』という要素を欠かすことはできません。『PCAクラウド』のサービスなら、これらの要素にも間違いがないと考えました」

○『PCAクラウド BPOプラン』 によって中小規模の企業や 法人もクラウド環境を実現

「品質の確かなクラウドサービスを、できるだけ多くの顧客に提供したい」との思いから、同社では『PCAクラウド BPOプラン』によって、従来からPCAをスタンダード版で利用してきた顧客についても、『PCAクラウド』を1ライセンス単位から導入できるようにしている。そのため顧客は低コストで『PCAクラウド』を利用でき、この『PCAクラウド BPOプラン』によって顧客のクラウド移行も一気に加速した。実際にクラウド環境を実現した顧客からも非常に高い評価を受けているという。その中から実際の事例をいくつか紹介していただいた。

ある公益法人は職員数が代表理事を含めて3名。会計を担当しているのは実質1名の状態だった。小規模の法人のため大きくコストをかけることは難しい。しかしたった1名に会計業務を集中させてしまうことのデメリットも解消したかった。

「そこで『PCAクラウド』によって、3名それぞれが自分のパソコンから会計データにアクセスできる環境にしました。クラウドですから新しくサーバーを設置する必要もありません。この環境によって、最新の会計データを3名がリアルタイムで確実に共有できることになり、会計データのミスなどにも迅速に気付き対応できます。たった1名にかかっていた心理的な負担も軽減できたのではないかと思います」

「新しくサーバーを設置しなくてもよい」という環境は、新しい事業を始める企業にとっても、大きなチャンスになると田中氏は語る。

「別のお客様の場合は、新しく事業を始めることになり、徳島以外に香川や愛媛にも店舗を出店したいと考えておられました。新規事業なのでインフラから整え

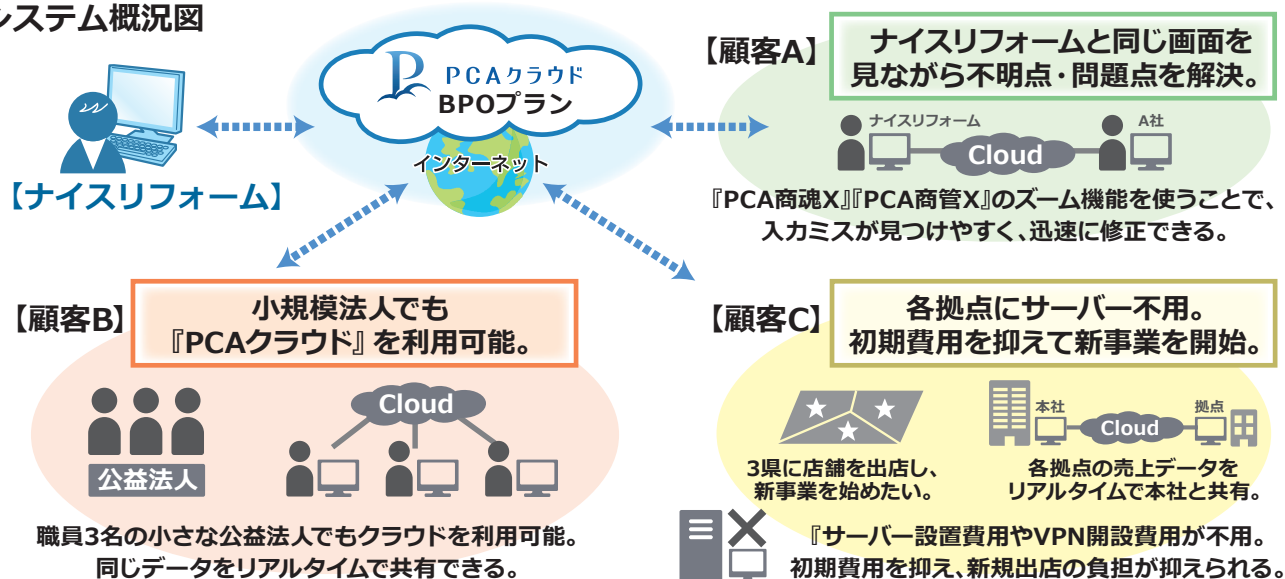
『PCAクラウド』なら サーバー不要、管理不要

コスト削減・管理の手間を削減

『PCAクラウド』の場合、アプリケーションサーバー・DBサーバー・ドメインコントローラー・バックアップサーバーなどが不要となり、サーバー導入の初期費用を抑えることが可能です。またサーバーを設置しないので、従来メンテナンスに必要なサーバー管理の手間が省けます。

『PCAクラウド』を使用して遠隔地運用を行う場合、通常的环境構成として推奨しているリモートデスクトップサーバーなどの環境構築も不要となり、更なるコスト削減につながります。

システム概況図



高い信頼性を誇る『PCAクラウド』

『PCAクラウド』サービスにおいて、次の各種認証・認定を取得しております。

「内部統制(SOC1報告書)」、「セキュリティ(SOC2報告書)」、「品質(PSQ/ISO25051)」、「個人情報保護(Pマーク)」、「情報開示(ASP/SaaS情報開示認定)」

『国際保証業務基準3402(ISAIE3402)』と、『米国保証業務基準第16号(SSAE16)』(旧SAS70)に準拠した「SOC1 Type2報告書」、および「Trustサービスの原則および規程(米国公認会計士協会:AICPA)」と、『国際保証業務基準(ISAIE)3000』に基づき評価された「SOC2 Type1報告書」(※1・2)については、希望されるお客様に対して無料で提供いたします。

各取得のサービス状況につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

※1 ご提供に際し、弊社指定のNDA(秘密保持契約書)締結の必要があります。

※2 「2015年9月末基準」の「Type2報告書」を、2015年11月頃取得・提供開始予定です。



株式会社 ナイスリフォーム
システムサポート&サービス事業部 HP
<https://www.kaikei-systemdo.jp/>

る必要があったのですが、仮にサーバーを置きVPN環境にした場合は300~400万ほどの費用がかかることが判明しました。しかし『PCAクラウド』ならネット環境さえ整っていれば他の初期費用は不要で毎月の利用料のみです。お客様も、ならばぜひクラウドでということで『PCAクラウド』を導入。店舗間の距離が離れていても、確実に最新の売上データを共有でき、経営判断もスピーディに実行できています」

同社では、『PCA商魂X』『PCA商管X』のズーム機能を使うことで、顧客からの問い合わせにもスピーディに対応している。

「当社では、お客様からの依頼があった場合にのみ、お客様と同じ『PCA商魂X』『PCA商管X』の画面を同時に見ながら修正や確認の対応を行っています。そこで便利なのがズーム機能で、数字のミスをすばやく見つけることができます。例えば売掛金残高表→得意先元帳→売上伝票入力・入金伝票入力と、該当項目を指定することにより次から次へと画面を変更でき、伝票入力の際のミスに素早くたどり着き修正できます。このような双方間での同時の対応ができるのも『PCAクラウド』ならではです」

今後の展望と課題

○基幹業務クラウドとしての高い安全性と信頼性を、より多くの人に伝えたい

『PCAクラウド』は基本的に申し分ないシステムだと語る田中氏だが、スピードについてはさらなる改善を期待したいと語る。「Xシリーズになってからはかなり改善しているのですが、それ以前のバージョンの場合には読み書きのスピードが少し遅いと感じることもあります。この点が改善したら、より理想的なクラウド環境になると思います」

また田中氏は、『PCAクラウド』の基幹業務クラウドとしての高い安全性と信頼性を、より広く周知させていくことが大事だと指摘する。

「『PCAクラウド』は『国際保証業務基準3402(ISAIE3402)』『米国保証業務基準第16号(SSAE16)』『SOC2レポートType1』の証明書を取得するなど、その品質の高さや信頼性、安全性はとても優れていると思います。しかしそれがまだまだ伝わっていないのではないのでしょうか。今後、地方の企業でもサーバーレス化、クラウド化はどんどん進んでいくと思います。自社でサーバーを抱え込むよりも、『PCAクラウド』の方がはるかに強固なセキュリティで守られているという点は、ぜひ強く伝えていきたい部分です」

経理・総務・人事・販売管理など企業の実務の相談を幅広く受け付け支援を行っている同社。豊富な実績と経験があるからこそ、企業のニーズにきめ細かく合わせた様々なソフトやシステムの提案ができる。『PCAクラウド』の高い安全性と信頼性もアピールしていくことで、より顧客に安心して利用してもらえるサービスを提供していきたいと語る。

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※Excel®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。

お客様から高い信頼と満足をいただけるよう
質の高いサービスの提供に努め、
新たな価値の創造を目指します

『PCAクラウド』×『PCA商魂X』によって、
請求・見積りデータを全従業員間で共有し、
ミスのない業務を遂行。蓄積された見積り
データは新たな営業活動へ応用

株式会社MAD エンジニアリングユナイテッド

太陽光発電の設置・アフターサービスをはじめ、給湯器設置や電気工事を行っている株式会社
MAD エンジニアリングユナイテッド。高知市で3人で起業した同社は、現在、四国一円をカバーす
る規模に成長し、松山営業所も開設。これらの事業拡大にともない、請求や見積り業務の改善が検討
され、『PCA 商魂 X クラウド』が導入された。社員一人ひとりが現場に出向く時間が多い環境におい
て、クラウドによる「情報共有」は非常に価値があると語る同社。PCA 製品への期待を伺った。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type2 2CAL)
・PCA 商魂 X クラウド

導入の狙い

- ・会計や販売管理に詳しくない従業員にも簡単にスピーディーに見積り業務をこなしたい。
- ・会社全体で見積り情報を共有し、ミスのない見積書を発行したい。蓄積されたデータを容易に集計・抽出・検索したい。
- ・会社以外の場所からも販売情報の参照を行いたい。

導入効果

- ・『PCA商魂X』は操作性に優れ、販売管理の知識がなくても入力しやすい。スピーディーかつ確実に業務処理が可能。
- ・見積りデータを従業員全体で共有。互いにチェックがスムーズにでき、ミスのない見積書を実現。蓄積されたデータは地域ごとの集計も迅速に行え、営業活動にも応用可能。同時接続ライセンスのため、13人利用しても2CALのライセンスで安価に全社共有化。
- ・バックアップデータを持ち帰ることなく、インターネット回線があれば社長の自宅からもアクセスが容易に可能。

プロフィール

株式会社MAD
エンジニアリングユナイテッド

- 所在地:
(本社)〒781-8103 高知県高知市高須新木2-38
(松山出張所)〒790-0921 愛媛県松山市福音寺町745-5-101
- 資本金:100万円 □従業員:13名
- 設立:H22年2月2日 □施工エリア:四国一円
- 主業種:設備・工事 □事業内容:太陽光設置・電気工事
- URL:http://www.madcoltd.com

太陽光発電システムの安心アフターサービス
給油器設置・電気工事

- 経営理念:
まじめ! 汗! 努力!
一、お客様をもてなす心を最優先し、満足いただける技術の向上を図ります
一、安全管理を怠らず、安心いただけるパートナーとしての役割を務めます
一、お客様から高い信頼と満足をいただけるよう質の高いサービスの提供に努め、新たな価値の創造を目指します
一、私たち社員一同は、以上の項目に一致団結し全力で取り組んでいきます



株式会社MAD
エンジニアリングユニテッド
代表取締役
牧野 昇三 氏

【社内研修会】

技術の向上を目指し、月1回開かれる社内研修会。研修会では小さな模擬屋根を作り、実際にカラーベストを葺いてみたり、防水シールの充填度合いを目視で確認するなど、普段確認できにくい重要過程などを中心に行っている。



月1回の社内研修会



大波スレート施工研修

導入前の運用と課題

○業務拡大にともない、請求・見積り業務の確実化・効率化が問題に

設置からアフターサポートまで、太陽光発電を一貫したサービスで提供している株式会社MADエンジニアリングユニテッド。今なお設置に重点が置かれがちな業界の中で、アフターサービスまでトータルに対応できる企業として、業績を伸ばしてきた。当初3人でスタートした事業は、現在10名以上の従業員を擁する規模に成長し、新しく営業所も開設。これらの業務の拡大にともなって問題となっていたのが、請求・見積り業務の確実化・効率化だった。

同社では以前は他社の販売管理ソフトを使用していた。しかし、そのソフトでは十分な処理ができなかったと、代表取締役 牧野昇三氏は当時を振り返る。

「以前使っていたソフトは、非常に簡素な造りだったため、手入力する部分が結構ありました。特に困ったのが請求・見積りの項目がマスター化されていないため、いちいち入力しなければならない点でした。そのため入力方法がきちんと統一できていないケースも発生していました。当社は設置工事も請け負っているため、細かな見積書が必要になります。項目が統一されていないことで、販売店や顧客に伝わりにくい部分があり、まずはこの点を改善したかったのです」

見積りデータの管理という面からも、あまり十分ではなかったと語る。見積書のフォーマットはある程度統一されていたが、項目の入力内容は各営業担

当者に委ねている部分が多く、結果、見積りデータの検索や集計に時間がかかっていた。また各担当者が独自にデータを管理していたため、その点も改善の対象だったという。

「おかげさまで会社の規模も大きくなり人も増えました。また工事の規模も年々大きくなり、請求・見積り業務を早急に見直さなければならぬと痛感していました。そこで以前からお世話になっていた株式会社アルベロさんに相談したところ、『PCA商魂X クラウド』なら当社の抱える問題を解決でき、請求・見積り業務を確実にスマート化できると提案されました」

導入後の効果

○『PCAクラウド』によって従業員間で確実に見積りデータを共有

現在、同社では『PCA商魂X クラウド』を、本社内および代表取締役 牧野氏の自宅において利用している。同時接続台数は2台だが、十分に導入した意味はあったという。

「当社は設置工事を行っていますから、基本的に従業員は外に出ている時間の方が長いです。また帰社する時間もまちまちです。そのため2台という台数でも十分対応できますし、かつ、いつどの時間に入力をして、クラウドによって情報は確実に共有されます。従業員が入力した見積り内容は、私が自宅で確認できます。従業員たちも、時間を問わないで『Aさんが提示した見積り額はこの額なんだ』『以前、提出した見積額はこれだった』など、見積り額を確実に共有できることで、見積りの金額

を打ち間違える心配がなくなりました。この点は、私だけでなく従業員にとっても大きなメリットだと考えています」

『PCAクラウド』の導入については、特に大きな不安はなかったそうだ。不安よりも、安心感の方がはるかに大きかったと語る。

「『PCAクラウド』導入については、株式会社アルベロさんからわかりやすい説明を受けました。回線状況にともなう処理スピードについても、メリット・デメリットの両面を教えてもらいました。結果としては現状ではスピードに対する不安はありません。基本的に本社内でクラウドを利用しているため、本社内の回線状況に問題がなければ、今後も順調に利用できるのではないかと考えています。他にも、万が一の地震や停電などを想定した場合でも、『PCA

クラウド』は毎日運用管理上のバックアップを行っていると聞いておりますので、データが完全にゼロになるということはありません。仮に当社に何かあってもデータは守られるという安心感があります」

○販売管理の知識がなくても使いこなせる『PCA商魂X』の操作性

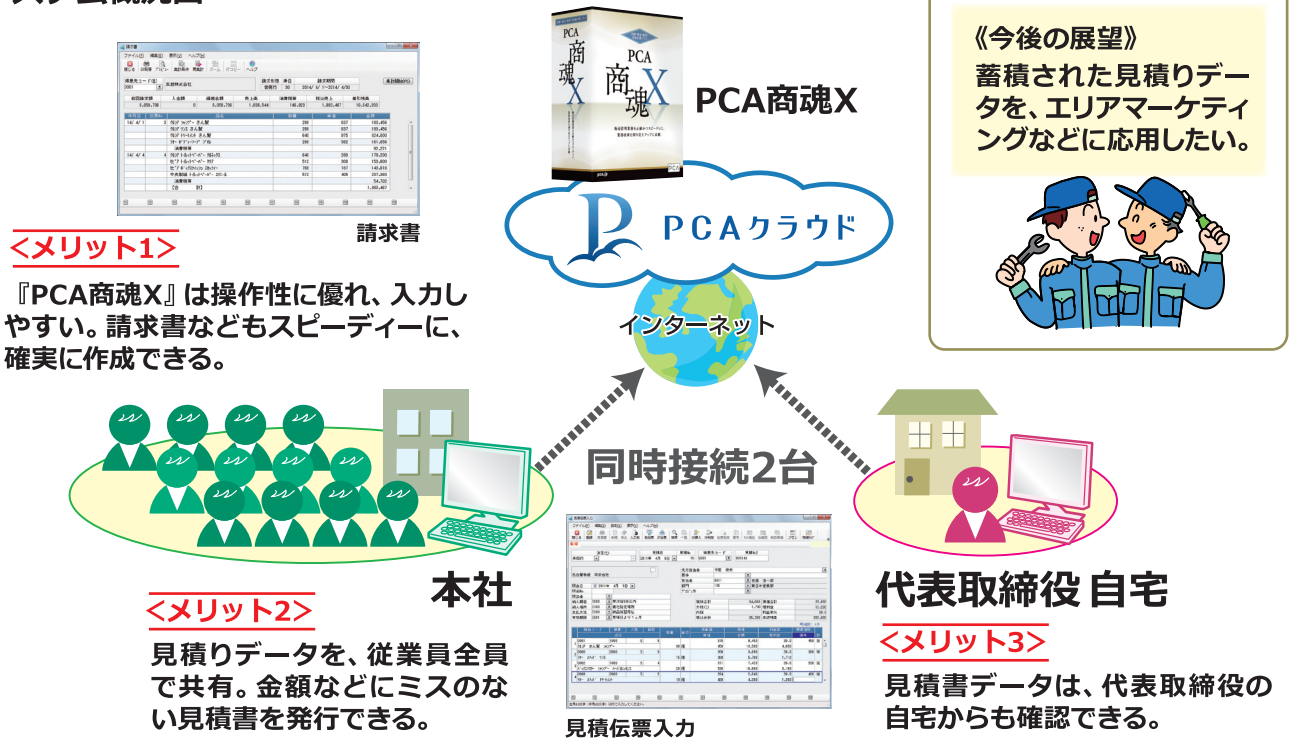
『PCAクラウド』の導入については、特に大きな不安はなかったと語る牧野氏だが、『PCA商魂X』については、操作性について次のような点が気掛かりだったという。

「当社の従業員は工事関係の経験はみな豊富ですが、会計や販売管理については全員が詳しいわけではありません。またパソコン自体も苦手な者もおります。そのため当初は、全員が『PCA



弊社は、「太陽光発電システム」の取付を中心とした施工専門の会社です。施工を手掛けるのは、1,000棟以上の豊富な経験を積んできたプロの職人達です。販売店やお客様のニーズに合わせて“太陽光発電という新しいエネルギー”と、お客様との末長いお付き合いのスタートのお手伝いをさせていただくのが、私達の仕事です。(牧野氏)

システム概況図





高知市高須新木の本社にて。
2013年11月に松山出張所を開設しました。



株式会社MAD
エンジニアリングユナイテッド HP
<http://www.madcoltd.com>

商魂X』を使いこなせるか正直、不安な面がありました。しかし実際に操作してみると、特に販売管理の知識がなくても十分に使いこなせますし、入力も複雑ではありません。これなら大丈夫だと思いました」

同社が『PCA商魂X クラウド』を本稼働させたのは2カ月前になる。そのため現在は主に牧野氏と事務スタッフが中心になって使用している。2014年1月からは従業員も本格的な入力業務を行う予定で、現在、それに向けた研修を行っているところだ。

「現在、『PCA商魂X』の研修を従業員に対して行っている最中で、全員が一通りの操作の研修を終えたところです。従業員の率直な感想は『これなら十分使えますよ』という声です。わかりやすさ・操作性という視点からも、『PCA商魂X』を選定してよかったと思います」

○集約された見積りデータを今後の営業活動にも生かす

同社の『PCA商魂X』にかかる期待は大きい。見積りデータの集計・抽出・検索が容易に行えるため、業者別の管理はもちろん、地域別の管理もできることになり、エリアマーケティングという視点から今後の営業活動にも応用していける。

また煩雑になっていた請求・見積り業務も、大幅に効率化できる。見積りの効率化から考えた場合、同社に限らず多くの企業において、見積りはある程度

のパターンに分けられることが多い。見積り入力の際には過去に入力した伝票から複写することができるので、入力する担当者は工事内容あるいは金額を一部修正するだけで、確実にミスのない見積り書をスピーディーに作成できる。

「まだ稼働させて2カ月のため、『PCA商魂X クラウド』の本当の便利さ、あるいは課題が見えてくるのは今後になると思います。サポートセンターの力も借りながら、ぜひ効率の良い請求・見積り業務を確立していきたいですね」

同社は従業員の研修に力を入れており、ホームページでも定期的に消費者に向けた情報を発信している。

「今まで顧客へのアフターフォローが弱いと言われていた太陽光発電業界において、当社のような設置からアフターサービスまでのトータルサポート、そしてお客様に向けた情報発信によって、太陽光発電業界の発展に微力ですが貢献できればと思っています。そのためにもなるべく業務の無駄やミスを排除し効率化させることで、本来の業務である設置工事の質を今以上に上げていきたいです。そのためにも『PCA商魂X クラウド』への期待は非常に大きいです」



有限会社 綾園

『PCA eDOCX』で、案件単位の
請求書・見積書を安全・安心・確実に管理。
コードやマスターを
自社の販売管理に合わせて応用し、
欲しいデータの検索や集計を実現

有限会社 綾園

有限会社綾園はガスコンロ・湯沸器などの大手ガス機器メーカーのアフターサービスを中心に、ガス機器の販売や修理工事、リフォーム全般まで請け負っている。そのため取り扱う商品が多く、品番・型番・製造番号などをいかに正確に販売管理できるかが問題だった。そこで導入したのが『PCA 商魂』と『PCA 商管』だ。『PCA eDOCX』をフル活用し、間違いのない記録を残すことに成功。またコードやマスターを自社のシステムにアレンジするなどユニークかつ効率的に利用している。その独自の利用方法を伺った。

導入システム

- ・ PCA 商魂 X with SQL (3CAL)
- ・ PCA 商管 7 V.2 EasyNetwork

導入の狙い

- ・ 見積書や請求書の原紙を探すのに時間がかかる。
- ・ 今以上に、検索機能を充実させて使いたい。

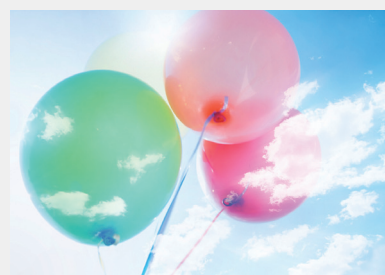
導入効果

- ・ 『PCA eDOCX』によって見積書や請求書を PDF 化。入力画面から随時その内容を確認できる。
- ・ 『PCA X シリーズ』では検索のスピードがアップし、範囲や機能も拡大。コードやマスターを工夫することで、自社の販売管理にそった検索や集計も可能。

プロフィール

有限会社 綾園

- 本社研究所：〒592-0003 大阪府高石市東羽衣 4-8-32
- 資本金：300 万円
- 従業員：3 名
- 業務内容：ガス器具販売・メンテナンス・リフォーム・リース 等



導入前の運用と課題

○型番・製造番号・得意先とのやり取りまで正確に記録管理したい



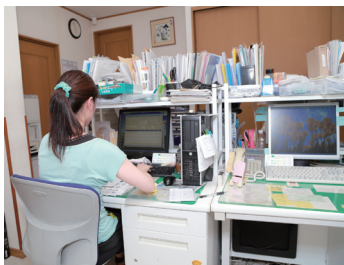
有限会社 綾園
総務担当
喜田 栄子 氏

有限会社綾園は大手ガス機器メーカーのアフターサービスを中心に、ガス機器の修理・販売、リフォーム全般、さらに IHクッキングヒーターなどのリース業も請け負い、事業エリアは近畿 2府 4県にまたがる。そのため取り扱う商品の数は膨大で、かつ安全に直結する商品や工事のため、品番・型番・製造番号、さらには得意先とのやり取りなどを、詳細かつ正確に記録し管理する必要があった。

同社では十数年以上前から『PCA商魂』『PCA商管』が導入され、これらの複雑な販売管理を処理してきた。

「当社のシステム全般の管理をお願いしているキヤノンシステムアンドサポート株式会社の担当者の方が、当社には PCA製品が使いやすいだろうと勧めてくださったのがきっかけです。実際、当時から PCAソフトの検索機能は便利だと思い使ってきました」(総務担当 喜田栄子氏)

そして約 3年前に『PCA商魂 X』へとバージョンアップ。そこで新たに便利さを感じ、現在、有効に活用しているのが、『PCA Xシリーズ』に標準搭載の『PCA eDOCX』だ。



オフィスにて撮影

導入後の効果

○『PCA eDOCX』なら間違いのない管理が可能

同社では『PCA eDOCX』で請求書・見積書はもちろん、工事や商品に関する手書きのメモに至るまで、すべてスキャンし PDFファイルにして管理・閲覧している。見積書は発行した時点ですべて PDFデータとして保管しており、過去の履歴をさかのぼることもできる。今までは見積書や請求書の原紙を探して確認していたが、現在は『PCA商魂 X』を開いていれば、瞬時に過去のやり取りを確認できる。

「請求書はもちろんですが、見積書はデータの宝庫です。製造番号や型番だけでなく、お客様とのやり取りで発生した新たな情報をメモすることもありますし、携帯電話番号を書いていることもあります。今まではこれらの情報をその都度入力していましたが、その際にミスが発生しがちでした。しかし『PCA eDOCX』なら請求書・見積書をお客様と同じ紙データのまま PDFファイルとして保管でき、間違いようがありません」(喜田氏)

同社の場合は、主に PDF化したデータを利用しているが、『PCA eDOCX』では Word®や Excel®など、見たいファイルに対応したアプリケーションさえあれば、どんなファイルでも閲覧可能だ。また『PCA商魂 X』の出力帳票もそのまま『PCA eDOCX』へ送ることができる。さらに「PCA eDOCX 連動設定」で複写ボタンをクリックすると、『PCA商魂 X』の各処理からのファイル出力時のアップロード先や、タグの関連付けの設定を他の処理に複写して利用できる。

「型番や製造番号、工事日、金額など間違いのない管理ができることは事実ですが、毎回スキャンを取るこの手間や、『PCA eDOCX』のデータの呼び出しに時間がかかっているのが新たな問題です。主に過去の履歴を参考として調べるために利用している機能なので、1日の業務の中で頻繁に使うわけではありませんが、やはり時間がかかるのは何とか解消したい点ですね」(喜田氏)

○コードやマスターを自社の販売管理に依拠して工夫

『PCA商魂 X』へのバージョンアップによって、以前よりも検索機能がパワーアップした印象が強いと喜田氏は語る。同社では自社の販売管理に使いやすいようコードをユニークに応用して使っている。

例えば取引先の直送先の登録では、直送先を会社名ではなくマンション名に設定しており、直送先コードを検索するとマンション名が表示され

る。同社の場合、顧客にはマンションの管理会社も多く、この機能は非常に重宝しているようだ。

「そのマンションで何月何日にどのような工事や商品を販売したのかを、すぐに検索・確認できます。またそのマンション管理会社の担当者の名前も入力しており、いつどの担当者が何を発注したのかも、コード検索によって簡単に確認できます」(喜田氏)

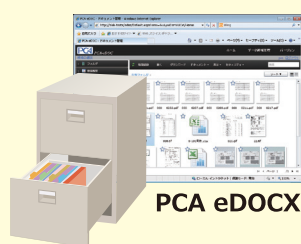
同様に会社マスターのプロジェクト登録では住所を設定しており、地域ごとの管理や集計へと応用している。喜田氏が評価するように、『PCA商魂 X』では取引先管理の便利さが大きな特徴だ。得意先区分・仕入先区分・商品区分はそれぞれ 5区分まで登録が可能のため、自社の販売管理にそった管理や集計を出しやすい。それぞれの取引先の情報に 2048文字までコメントを入力でき、その内容は伝票画面でも確認できる。また、見積・受注・売上・発注・仕入の各伝票

システム概況図



『PCA商魂X』へのバージョンアップによる3大効果

【効果①】

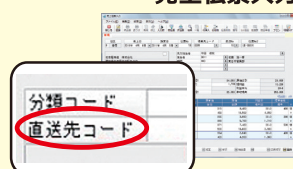


PCA eDOCX

『PCA eDOCX』で見積書・請求書をすべて保管・閲覧。過去の履歴や得意先とのやり取りを正確に把握できる。

【効果②】

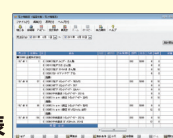
売上伝票入力



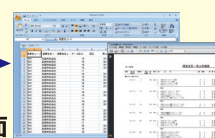
コードやマスターを工夫して、自社の販売管理にそった検索・集計・管理が可能。
 <例> 直送先コードをマンション名にすることで、マンション全体での販売を管理

【効果③】

売上明細表



Excel® 出力画面

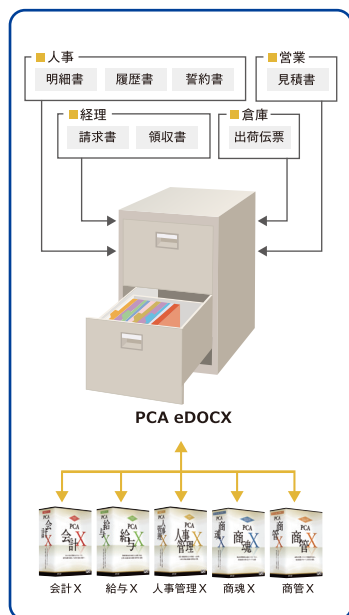


各伝票・帳票からのExcel®出力が容易に。
 <例> 売上明細表→Excel®出力画面サンプル

売上明細表出力紙

PCA eDOCX

- ◆e-文書法に対応した、PCA初の基幹業務運動型文書管理システム
- ◆『PCA Xシリーズ』に標準搭載
- ◆『PCA Xシリーズ』との完全連動
- ◆同時 100ユーザーまでの利用を想定(SQL Server Expressを利用)
- ◆『PCA eDOCX』の文章を伝票や帳票に紐付ける『eCLIP機能』を搭載。さらにXシリーズから『PCA eDOCX』へのアップロードも可能



では「8桁までの伝票番号」と「16桁までの伝票番号（英数カナも使用可能）」の二種類が登録できる。

このようなコードやマスターの応用についても、PCA製品の販売パートナーであるキヤノンシステムアンドサポート株式会社の担当者からのアドバイスが非常に役に立ったと喜田氏は語る。

「複雑な販売管理を処理するなら、自社ソフトという選択肢もあるでしょうが、それは高額になりがちです。ですから当社では PCAの汎用ソフトを使用していますが、このように独自の使い方を工夫できますし、検索機能も強化されており、当社での現状の使用についてはある程度満足しています。もうずっと PCAですから、慣れもあるのかもしれませんが（笑）」（喜田氏）

○各伝票・帳票から容易にExcel® 出力が可能

同社では『PCA商管 7V.2』も導入しており、仕入管理に利用している。ここでも『PCA商魂 X』と同様にマンション名での検索がしやすいように登録しており、どのマンションでいつ、何の機器を据え付けるために、どこから仕入を行ったのかなどを瞬時に確認できる。また仕入データをExcel®データに出力し、仕入帳の作成などにも利用している。

『PCA商魂 X』も『PCA商管 7V.2』も Excel®出力が容易な点は非常に助かっています。当社の場合、売上明細書は従業員同士での確認のために出力するのですが、じっくり見ているのは私たち事務方が中心です。実際に現場に行くことの多い当社の代表などは、Excel®に出力した一覧表や請求書を見ることの方が多いようです。ですので Excel®出力が容易で、さまざまな資料に利用できるのは意味がありますね」（喜田氏）

今後の課題と展望

○今後はクラウドを視野に、より便利な機能を使っていきたい

『PCA商魂 X』へのバージョンアップによって、『PCA eDOCX』などの新機能を上手に使っている同社だが、今後は『PCAクラウド』を検討していきたいと語る。

「クラウドはセキュリティ面などにまだ少し不安があるのが本音です。しかしウイルス対策をしっかりとしていれば問題ないというアドバイスをいただいたので、今後の検討材料にしたいです。」（喜田氏）



複数の拠点でも『テレタイム X-F』と『就業管理たんぽぽ』で、勤怠を一括管理。社会保険事務の適切な処理を証明できる給与計算システム

株式会社 協伸電設

株式会社協伸電設は、電気工事業のみならず消防施設工事業や排水管清掃業など、電設関連の工事をトータルに請け負っている企業だ。順調に業績を伸ばし、新たに事務所も開設。そのため複数の拠点において正確な勤怠管理を行う必要が生まれた。そこで導入されたのが『PCA 給与 X』+『テレタイム X-F (タイムレコーダー) ※1』+『就業管理たんぽぽ ※2』だ。同社から「不満がいっさい思い浮かばない」と高く評価される PCA の勤怠管理・給与計算システムについて、その効果を伺った。

導入システム

- ・ PCA 給与 X システム B
- ・ テレタイム X-F (タイムレコーダー) ※1
- ・ 就業管理たんぽぽ ※2

導入の狙い

- ・ 紙のタイムカード+給与ソフトの入力という二度手間を解消したい。
- ・ 事務所が複数になり、複雑になった勤怠管理を整理したい。

導入効果

- ・ 『テレタイム X-F』(タイムレコーダー) に IC カードをかざすだけで、自動的に打刻データの確認、給与ソフトへの反映が可能に。
- ・ 『PCA 給与』のネットワーク化と、『テレタイム X-F』導入で、スムーズに本社で勤怠を一括管理。

プロフィール

株式会社 協伸電設

- 所在地：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸3丁目14番2号
- 設立：昭和40年2月25日
- 社員数：16名
- 資本金：2,000万円
- 業務内容：電気工事業、管工事業、消防施設工事業、排水管清掃業、建築工事、土木工事
- URL：<http://kyoshindensetsu.co.jp/>



会社外観

※ 1) 2) :『テレタイム X-F』(タイムレコーダー)と『就業管理たんぽぽ』は、クロノス(株)の製品です。



株式会社 協伸電設
代表取締役
鈴木 聡 氏



会社入口にて

導入前の運用と選定のポイント

○導入の決め手は「1. 操作性」「2. コスト」「3. 丁寧」で親切な指導

株式会社協伸電設では以前、「紙のタイムカード」+「他社の給与ソフト」を用いて、勤怠管理および給与計算を行っていた。毎月、タイムカードに打刻された時間を手計算し、その結果を給与ソフトに入力。従業員数は約20名ほどだが、給与体系が複雑なため、給与計算は決して簡単ではない。そのため給与計算にはおよそ2、3日の時間が必要だったそうだ。

そこでまずは給与ソフトの見直しが行われた。数社のソフトが比較検討されたが、『PCA給与』を選んだ理由として、同社代表取締役 鈴木聡氏は次の3つのポイントを評価している。

「まず1つ目は、『PCA給与』は使いやすく、操作性の点で優れていたこと。そして2つ目は価格が安いというコスト面。そして3つ目は、実際に導入を決めた後の話になってしまいますが、インストラクターの方が非常に親切に教えてくれた点です。お陰様で躊躇なく使えるようになりました」(鈴木氏)

これらの点が決め手になり2008年に『PCA給与9』と『就業管理たんぽぽ』を導入。納品・設置には2週間、本稼働までは3週間という短期間のスケジュールで、スムーズに導入・稼働できた。

導入後の効果

○かざす→自動的に打刻データを確認→給与ソフトへ反映

以前は2、3日必要だった給与計算に要する時間が、現在ではおよそ2、3時間に短縮できたという同社。同社の場合の

この大幅な時間短縮の理由には、『PCA給与』と『就業管理たんぽぽ』、さらに『テレタイムX-F』の導入がある。

同社は昨年、事務所を新設。2カ所での勤怠管理が必要となった。そこで「複数拠点・遠隔地での勤怠管理をスムーズに行えるシステム」として導入されたのが『テレタイムX-F』のネットワーク化だ。

同社の勤怠管理システムは、次のような流れになる。まず『テレタイムX-F』によって、従業員は入社時および退社時に「ICカード」をカードリーダーにかざす。するとその打刻データは自動的に『就業管理たんぽぽ』へ取り込まれる。『PCA給与X』と『就業管理たんぽぽ』は連動しており、新設した事務所での勤怠データは本社で確認できる。

カードはカードリーダーにかざすだけでデータが取り込まれるため、直接カードリーダーに触れる必要がない。このシステムは水や油などの汚れにも強く、同社のように工事作業を伴う業種にも適しているといえるだろう。なお同システムは磁気カードや指静脈認証にも対応しており、その企業の特色に合わせて選ぶことが可能だ。

「導入当初は、カードをかざすことをつい忘れる従業員がいましたが、約1年間導入して、そのようなことも徐々に減ってきました。このような人的なうっかりミスは正直ありますが、これを差し引いても、勤怠管理、しかも2カ所にまたいだ勤怠管理が非常に楽になったのは事実です」(鈴木氏)

○適切な給与・社会保険事務を証明できる給与ソフト

『PCA給与X』そのもののクオリティも高いと鈴木氏は語る。給与入力・賞与入力はもちろん、年末調整、そして社会保険料一覧表の集計や月額変更届・算定基礎届などの作成など、基本的な項目はほ

ばフル活用している。また賃金台帳や勤怠台帳などの管理帳票も丁寧に出力され整理されている。

この管理帳票が思いがけず役に立った出来事があったそうだ。最近、年金事務所が各事業所での社会保険に関する事務が適切に行われているかどうかを確認するために、任意で事業所を抽出し、算定基礎届などの提出を求めるケースが増えている。同社も算定基礎届や賃金台帳、出勤簿などの提出を求められたそうだ。

「当日は当社以外に数社が提出を求められていたようです。他の企業がかなり時間をかけていたのに対し、当社はものの見事に10分で終了しました。おそらく所員の方は『PCA給与X』から出力した帳票のファイルを見たときに、『この事業所はちゃんと管理している。タイムカードの数字を間違いなく計算している』と分かってくれたのではないのでしょうか。

勤怠管理や給与については、すぐにデータを抽出でき、提出もできます。あわせて資料をめくる必要もありません。PCAにしておいて本当によかったですよ(笑)」(鈴木氏)

○PCAのインストラクターへの評価

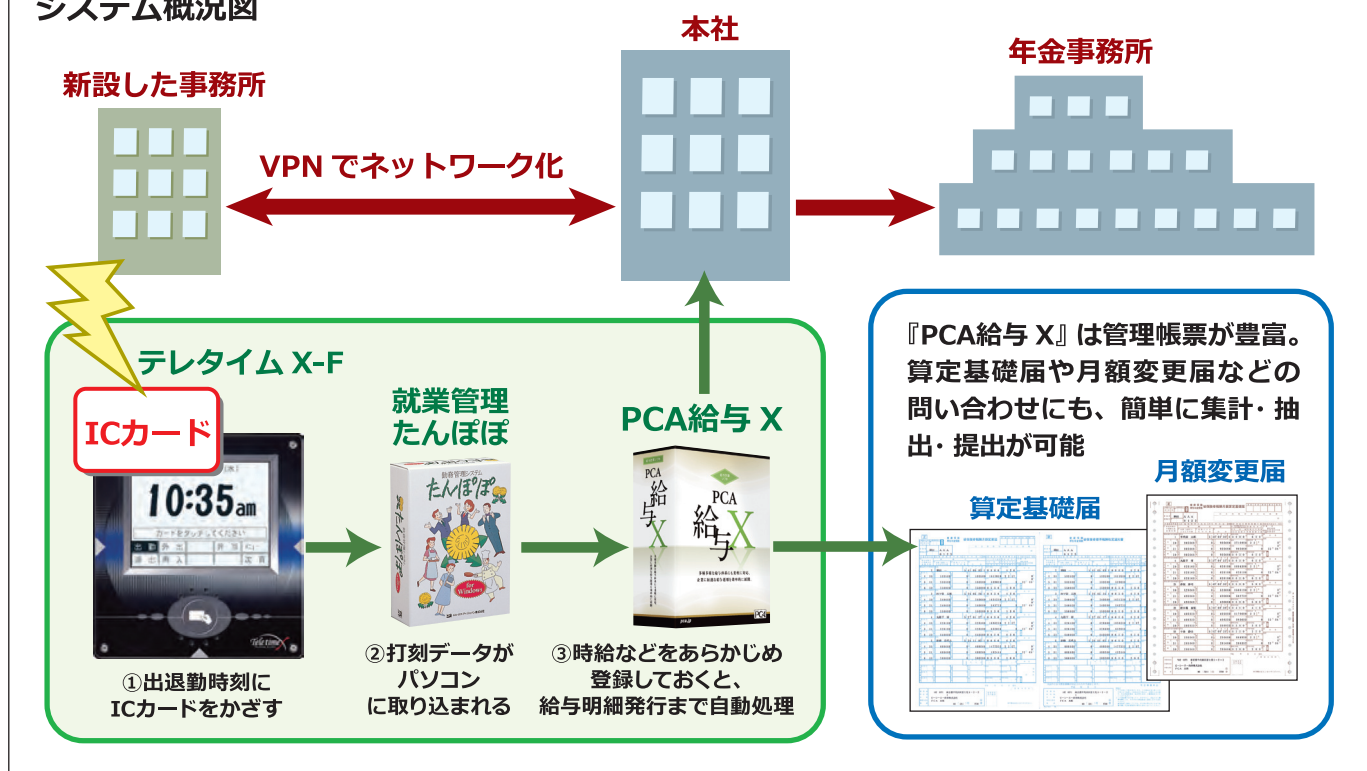
ネットワーク化による複数拠点での『PCA給与X』+『就業管理たんぽぽ』+『テレタイムX-F』の導入で、業務は確実に効率化され、「不満な点が思い浮かばない」と語る鈴木氏。同氏はPCAのソフトやシステムを「回り道をしなくてもよいシステム」と表現する。

「『PCA給与X』については最初の登録さえしっかりしておけば、基本給の従業員に関しては、その後改めて入力することはほとんどありません。交通費も一度計算式を入れたらよいだけ。帳票も見やすいですし充実しています。給与を現金

【営業品目内】

- (特定)電気工事業
- (特定)管工事業
- (特定)建設工事業
- (特定)屋根工事業
- (特定)内装仕上工事業
- (特定)大工工事業
- (特定)鋼構造物工事業
- (特定)タイル・れんが・ブロック工事業
- (一般)消防設備工事業
- (一般)とび・土工事業
- (一般)ほ装工事業
- (一般)水道施設工事業
- (一般)土木工事業
- (一般)石工事業
- (一般)しゅんせつ工事業
- 建築物排水管清掃業
- 建築物貯水槽清掃業
- 家電品販売

システム概況図



施工事例のご紹介

<施工事例1>

西田小学校 受変電設備改修工事



チームミーティング



設置作業

<施工事例2>

杉並区教職員研修所 秋川荘高压
受電用区分開閉器改修工事



回収作業



設置した機器

で支給している従業員がいるのですが、金種表もボタン1つで出てきます。『PCA給与』は、「9」→「9V.2R7」→「X」とバージョンアップしてきましたが、本当に手のかかる部分がない優れモノです」(鈴木氏)

PCAへの評価はソフトやシステム以外にもあるそうだ。その1つが、導入時の評価のポイントとなったインストラクターの質だという。

「教え方が非常に分かりやすく、『こういう場合にはここここだけ进行操作してください』などの、的確な指示を出してくれ、理解しやすかったです。何より有り難かったのが、『PCA給与9』を初めて導入した時と、『PCA給与X』へのバージョンアップの時と、同じインストラクターの方が指導に来てくれたことです。そういうのはとても心強いですね」(鈴木氏)

同社ではサポートセンターを使う場合も、夕方などの混みやすい時間は避け、なるべく空いている時間帯を利用している。

「給与ソフトについて聞くことは大体決まっています。例えば年度替わりのときの住民税の入力などは、基本的には1年に1回しか入力しない作業なので、前年のことをつい忘れてしまい、サポートセンターに頼りがちです。でもそういう作業はあらかじめメモなどをとっておけば済むことですからね。サポートセンターの受付時間も延びていますし、かなり便利になったんじゃないでしょうか。空いている時間帯を利用しているのは、こちらだって待つのは嫌ですからね(笑)」(鈴木氏)

今後の展望

○急な雇用の変化にも柔軟に対応できる給与システム

昭和40年に設立された同社は、現在、事業をさらに拡大させている最中だ。高圧洗浄車も所有し、電気工事業・管工事業・消防施設工事業など建設関係はすべて免許を取得。電設工事をトータルに手掛けられる体制と豊富な施工事例を有し、公共事業や集合住宅の工事でも豊富に請け負っている。同社に限らず、建設関連の企業は2020年に向け人材確保が大きな問題になってくることは明白だと鈴木氏は語る。

急な従業員の雇用があった場合にも、『PCA給与X』+『就業管理たんぼぽ』+『テレタイムX-F』によって、給与支給・社会保険手続きがスムーズに行われることの安心感は大きい。

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

